

令和 5 年度 社会福祉法人 城島福社会 事業報告

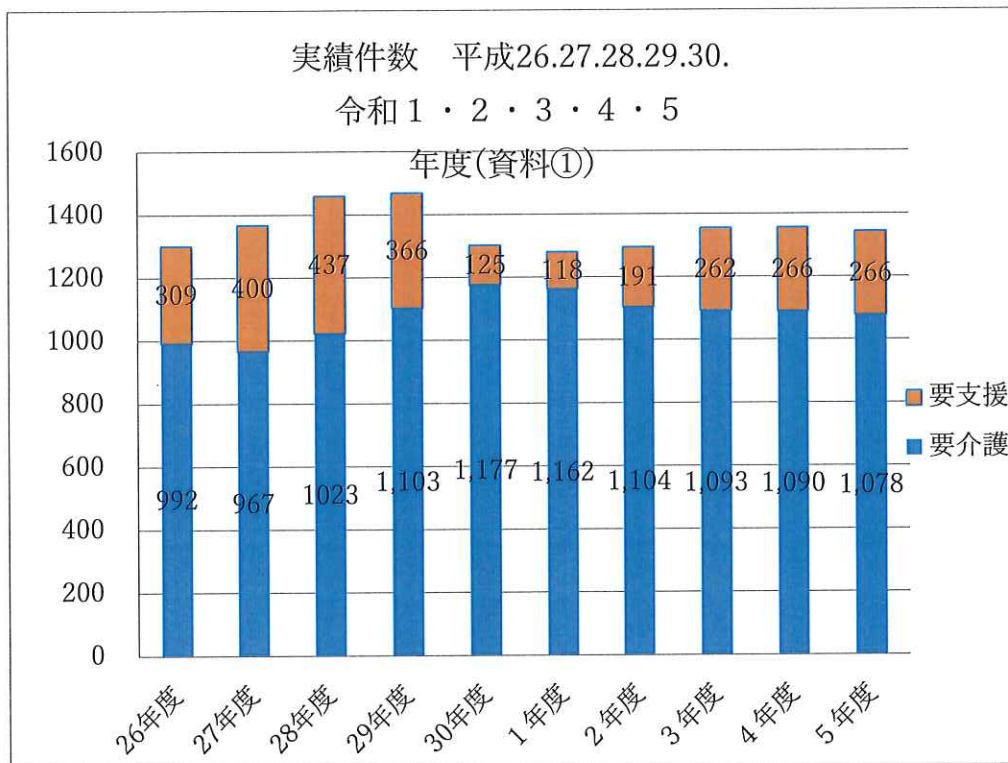
- ふれあいの園 ケアプランサービス P2~P6
- 特別養護老人ホーム ふれあいの園 P7~P8
特別養護老人ホームふれあいの園 短期入所生活介護
P9~P10
- ふれあいの園 デイサービスセンター P11~P18
- ケアハウス ふれあい荘 (特定施設入居者生活介護)
P19~P25
- ホームヘルプ P26~P30
- 在宅支援室 P31~P32
- ふれあいの園 みづまケアプランサービス
P33~P36
- ふれあいの園 みづま館小規模多機能型居宅介護
P37~P43
- ふれあいの園 みづま館認知症対応型通所介護
P44~P51
- ふれあいの園 就労継続支援 B 型事業所 P52~P53

令和5年度 ふれあいの園ケアプランサービス

事業報告書

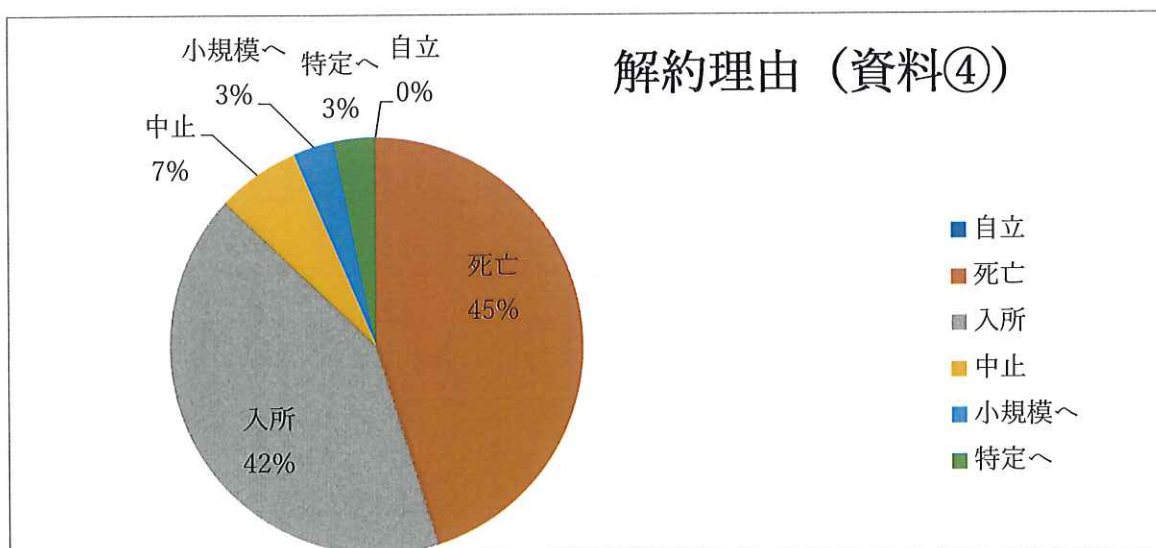
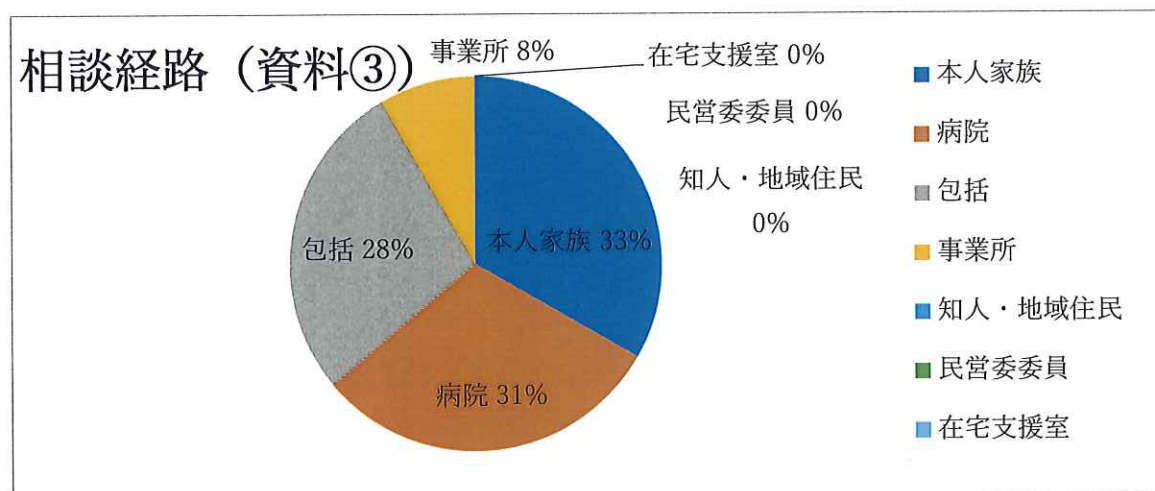
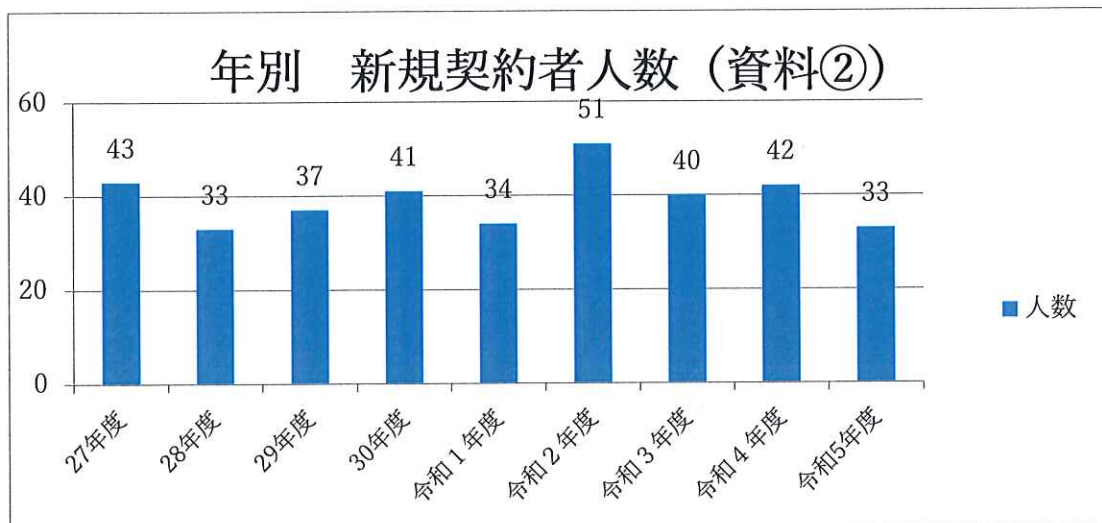
実績について（資料①②③④）

昨年度と比べますと、要介護者で12件減、要支援者は同数でした。介護支援専門員1人当たりの基準担当件数を月/35件で計算した場合、要支援者を0.5件で計算し、今年度の稼働率は、介護支援専門員3名体制で月平均/34件、稼働率96.1%でした。昨年度の稼働率は97.1%、昨年度より9万円ほど減収になりましたが、予定より経費が掛からなかったため、黒字を保つことが出来ました。



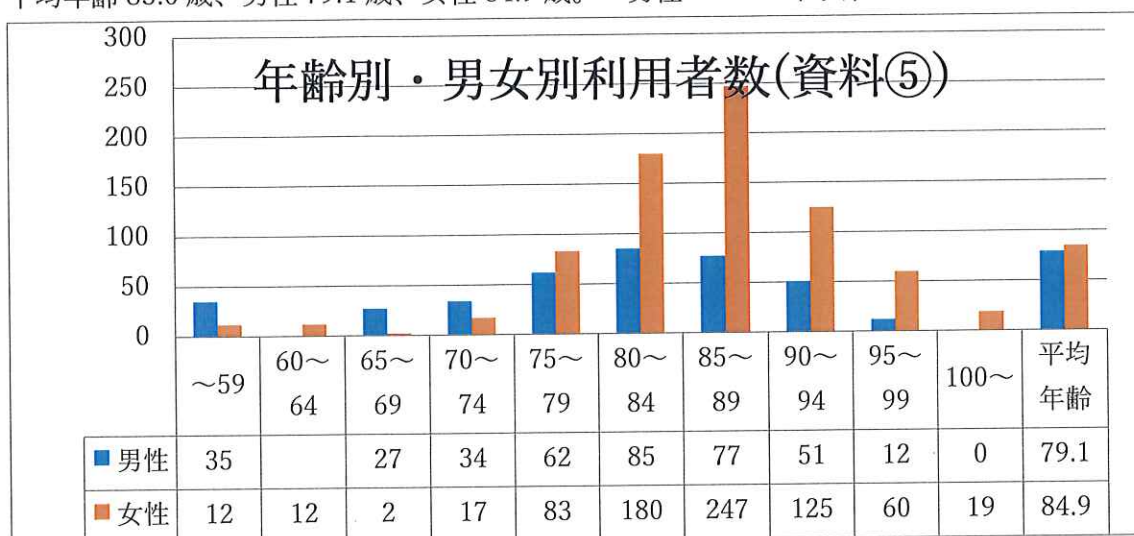
収入	令和5度目標数	令和5年度実績	達成率	令和4年度実績
利用者延べ数	1,296	1,211	93%	1,223
総収入	18,500,000	17,230,979	93%	17,322,722

支出	予算額	実績額	執行率	人件費率	職員増減数
事業費支出	540,000	389,574	72%	92.8%	増 0 名
事務費支出	780,000	596,746	77%		減 0 名



・年齢別・男女別利用者数について（資料⑤）

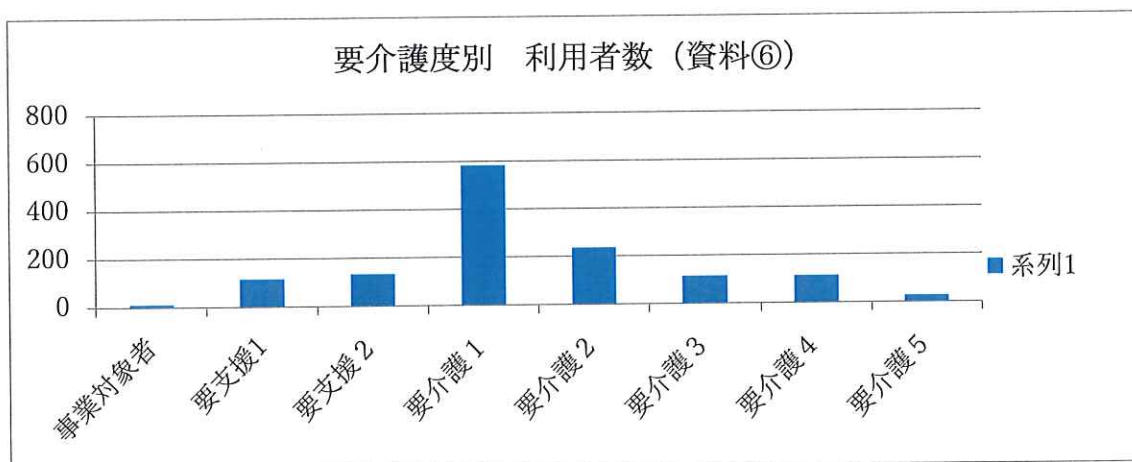
平均年齢 83.0 歳、男性 79.1 歳、女性 84.9 歳。 男性＝33.6%、女性＝66.4%



・介護度別の利用者人数について（資料⑥）

平均要介護度は 1.77（平均要介護度は要支援以下を 0.375 として計算しています。）

要支援から要介護 1・2 までの利用者数が全体の約 8 割程になっており、軽度化が進んでいます。

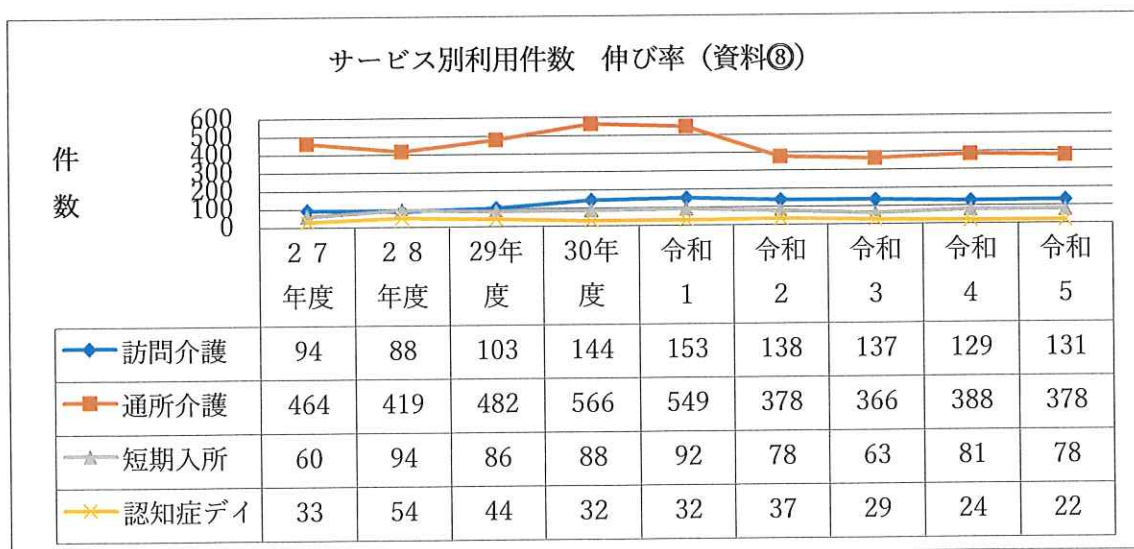
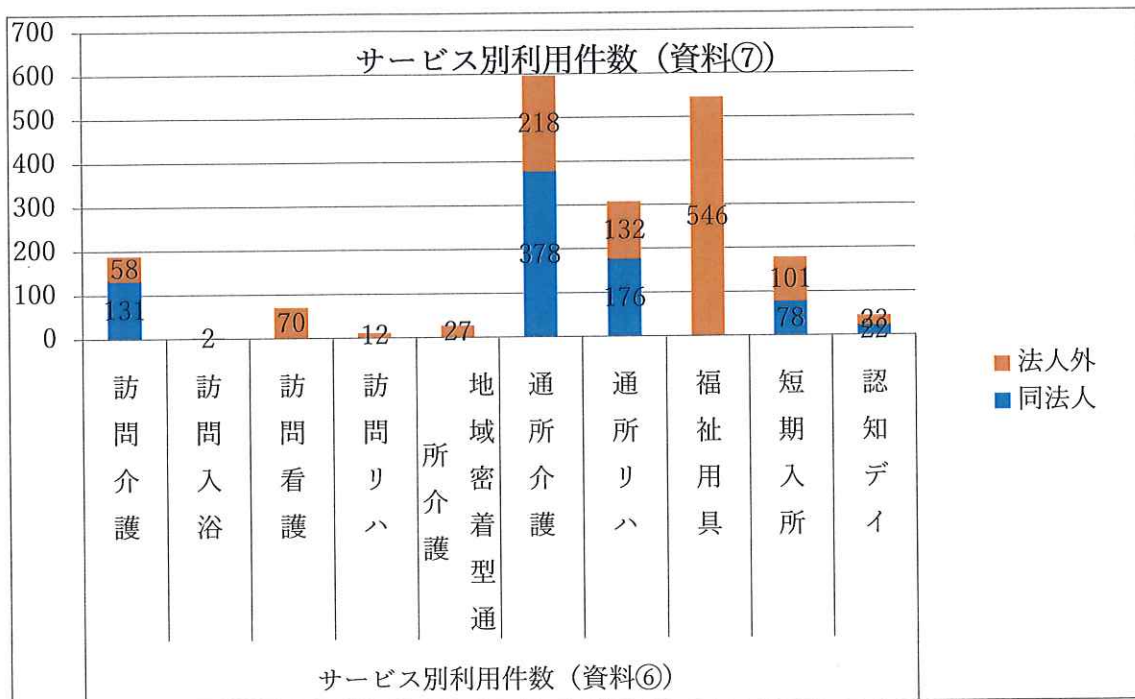


・サービス別利用件数について（資料⑦⑧）

同一法人のサービス別利用件数について、訪問介護に関しては、慢性的なヘルパーの人員不足もあり、町内唯一の同一法人の訪問介護事業所ですが、受け入れ困難な場合があり、他の訪問介護事業所も含め、幅広く紹介している状況です。短期入所においては、今年度、併設事業所より他の事業所の利用者数が上回っています。同一法人のショートステイ事業が、介護職員不足や感染症対策上の理由で受け入れ制限をしたことが大きな要因で、特に特養入

所待機希望の長期ショートステイ利用者が減少しています。通所介護については、利用者や家族・包括など関係機関からの評価や満足度も高く、利用者や関係機関からの紹介等で新規利用者が増えている状況です。

同一法人の認知症デイサービスが令和6年3月で休止になりましたが、2月末には利用者の他事業所への移行も無事終了し、特に苦情等もなく、それぞれ新しい事業所を利用されています。



研修・現場実習受け入れ

令和5年度 居宅介護支援研修一覧

日付	時間	内容	参加者
4月16日	9:00~9:30	職業倫理・法令	全員
5月7日	10:00~11:00	ハラスメントについて	全員
6月2日	8:45~9:15	虐待防止について	全員
6月20日	13:30~15:30	介護予防ケアマネジメントスキルアップ研修	矢加部・久間
8月21日	13:30~15:30	介護予防ケアマネジメントスキルアップ研修(第2回)	矢加部・箴島
10月21日	13:30~17:00	令和5年度ヤングケアラーに係わる支援機関等研修会	箴島
11月9日	14:00~16:00	令和5年度 西圏域複数事業所事例検討会	全員
11月24日	13:30~15:30	令和5年度 要援護者による高齢者虐待予防研修会	矢加部
12月14日	13:30~15:30	介護予防ケアマネジメントスキルアップ研修(第2回)	矢加部・箴島
2月14日	14:00~16:00	ケアマネよらん会	矢加部

介護支援専門員 実務研修受け入れ

人数	1名	
日程	3日間	3/14 ・ 3/18 ・ 3/26

令和 5 年度 事業報告書

特別養護老人ホームふれあいの園

1. 令和 5 年度の利用状況と実績について

令和 5 年度の利用状況は平均請求者数が 48.9 人とほぼ 50 人の満床を継続しています。売上について、期首予算 98%、補正予算 103%、前年比 99%、1,825,349 円減収しました。令和 6 年度も満床を継続していきます。

入所待機者の状況について

令和 6 年 3 月末現在で 50 名となっています。5 年 3 月末は 99 名でしたので、49 名減少しています。これは全申込者に連絡を取り、対象者が死亡や他施設入所等キャンセルがありました。

行事について

行事については、新型コロナウイルス感染予防の観点から行うことができませんでした。令和 5 年 5 月から新型コロナウイルス感染症が 5 類相当になりましたが一気に元に戻すことはできませんので感染状況を見ながら少しずつ対応して参ります。

2. 令和 5 年度事業計画の評価について

1. 介護サービスの質の均質化と効率化、介護職員の労働負担軽減について

5 年度、入職者 1 名、退職者 5 名と、大きな人員不足となりました。施設長等管理者の現場配置、派遣職員の利用を進めたこと、ナースコール、見守り機器を導入した成果がありましたので少ない人員でも業務を継続することが出来ました。令和 6 年度も職員の定着率向上、人員の拡充を行い、施設全体のサービスの質の向上に努め、適切な労働環境を構築していきます。

2. 感染症対策について

感染症対策委員会を定期的開催し、職員に情報発信、感染予防に努めています。新型コロナウイルスが 5 月より、5 類となりこれまで制限していた外出、外泊も許可するようになりました。職員の勤務時、休憩時の検温、手指消毒の徹底は継続しています。

3. 新型コロナウイルス対策について

3月にコロナクラスターが発生しました。入居者、職員への感染拡大を防ぐ為、食堂をレッドゾーンとして感染者の状態観察に努めました。

4. 入院者の対応について

病院のソーシャルワーカーと連携を取り、退院または退所の手続きを円滑に進めて参りました。入居者の健康観察に努め、病状の早期発見、早期受診、早期の退院を目指していきます。

3. 収支の状況について

収入の部	5年度目標数	5年度実績	達成率
平均利用数	50名	48.9名	97%
総収入	215,000,000円	205,203,481円	95%

支出の部	予算額	実績額	執行率	人件費率
事業費支出	4,229,000円	40,715,269円	96.2%	72.3%
事務費支出	17,560,000円	16,311,528円	92.8%	

4. 今後の課題について

人員不足は継続していますが限られた人員で入居者満足度を下げないように日々、議論を重ねています。ハローワーク、紹介・派遣会社による求人活動を強化し、新規職員の雇用に努めていきます。

管理者養成として中堅職員の強化に努めていきます。

令和 5 年度 事業報告書

特別養護老人ホームふれあいの園

短期入所生活介護

1. ショートステイの収入評価について

令和 5 年度の営業成績は定員 20 人に対し平均稼働率 6.6 人、期首予算達成率 79%、補正予算達成率 92%、前年度比 102%、前年度から 562,227 円増収しております。

久留米市から委託を受けております生活支援ショートステイ利用については、令和 5 年度の利用はありませんでした。

利用者状況について

人員不足をショートステイの利用者を調整することで補ったので稼働率を上げることはできませんでした。また、長期利用者が入院したことで売上減となりました。

2. 令和 5 年度事業計画の評価について

1. ベッド稼働率 60%の達成

今年度は、特養を満床し、さらにショートステイの稼働率アップに取り組みましたが介護職員の人員不足による利用者受け入れ制限と長期利用者の入院がありまして、稼働率アップとはなりませんでした。

2. 介護サービスの質の均質化と効率化、介護職員の労働負担の軽減について

5 年度、入職者 1 名、退職者 5 名と、大きな人員不足となりました。施設長等管理者の現場配置、派遣職員の利用を進めたこと、ナースコール、見守り機器を導入した成果がありましたので少ない人員でも業務を継続することが出来ました。令和 6 年度も職員の定着率向上、人員の拡充を行い、施設全体のサービスの質の向上に努め、適切な労働環境を構築していきます。

3. アクティビティについて

作業療法士による、リハビリ・アクティビティの充実を図っています。

3. 収支の状況について

収入の部	5年度目標数	5年度実績	達成率
日平均利用者数	12人	6.6名	55%
総収入	31,000,000円	28,719,175円	92.6%

支出の部	予算額	実績額	執行率	人件費率
事業費支出	10,570,000円	11,343,905円	107.3%	70.7%
事務費支出	4,650,000円	4,149,033円	89.2%	

4. 今後の課題について

人員不足は継続していますが限られた人員で入居者満足度を下げないように日々、議論を重ねています。ハローワーク、紹介・派遣会社による求人活動を強化し、新規職員の雇用に繋げていきます。

管理者養成として中堅職員の強化に努めていきます。

ベッド稼働率の向上に努めていきます。

令和5年度 ふれあいの園デイサービスセンター 事業報告書

I、年間稼働日数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
稼働日数	309 日	312 日	311 日

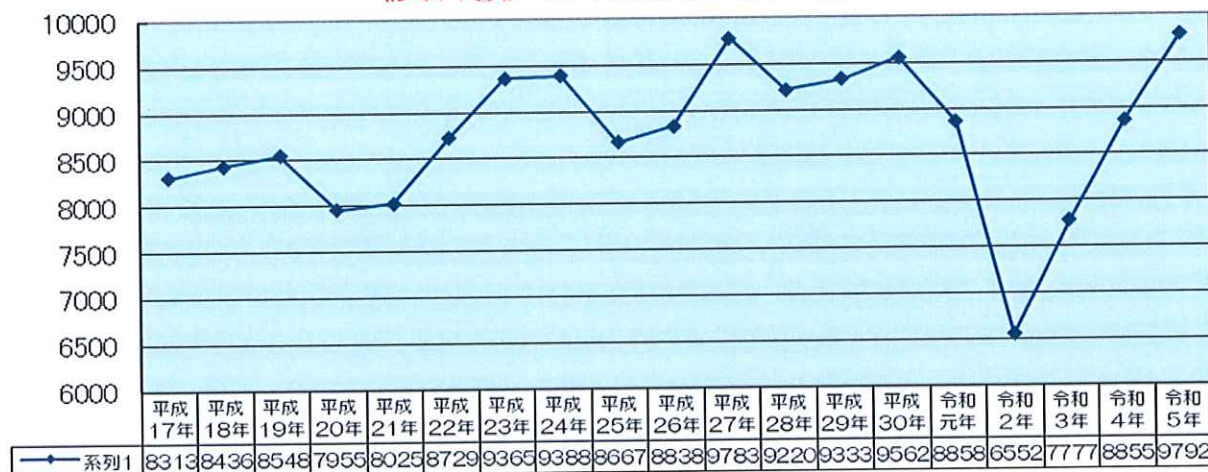
・令和5年7月に大雨の影響で1営業日の臨時休業がありました。感染症の5類移行後も、感染症蔓延防止対策の継続、感染者が出た場合の対応を早い段階で行えたため、感染症による営業休止を行うことはありませんでした。

II、サービスの利用状況について

《資料①》

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間利用者延べ人数	7777 人	8855 人	9792 人
一日の平均利用者数	25.2 人	28.3 人	31.4 人

《資料②》 各年度の延利用人数

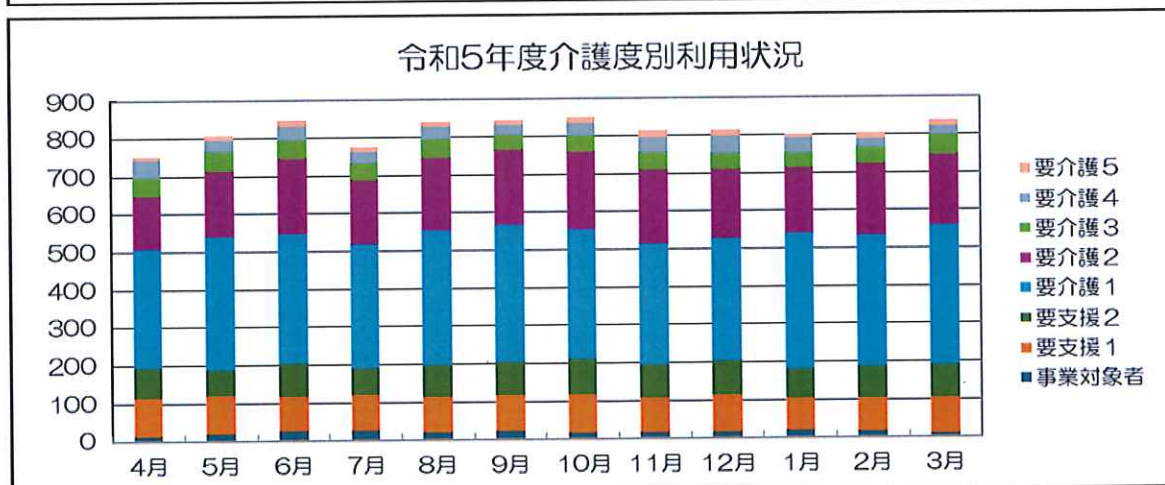


- ・令和5年度の年間の延べ利用数は、前年度比+10.5%、記録が残っている年度のなかで最も利用数が多い年度となりました。コロナウイルス感染症が5類に移行し、サービスの利用控えなど消極的な姿勢もなくなり、感染症の蔓延防止に留意しながら運営することが出来ています。利用数は大きく伸びていますが、新規利用の相談と利用中止の件数はほとんど同じ数であり、登録利用者の数は85名前後で大きな増加はありません。総合事業から通常の介護サービスへの移行（要支援⇒要介護）や、お一人当たりの利用数が多い、在宅生活が安定して経過している等の傾向があります。《資料①・②》
- ・事業所の利用定員を[平日／介護 30 名、総合事業 10 名]として、ひと月の平均稼働率は78.2%となっています。

Ⅲ、サービス利用者の状況について

過去3年間の介護度別利用状況を示しています《資料③》。令和3年度は感染症の影響が大きい年度なので参考まで。令和5年度の傾向としては、月ごとの総利用数が800回を超える月が多くなっていること、全体的に微増していますが特に要介護1の方の利用数が多くなっていることがグラフで確認できます。比較的、在宅生活が安定している要支援～要介護1のお客様が継続して通所利用されており利用数の増加につながっています。

《資料③》



《資料④介護度別各年度の基本報酬比較》

	事業対象者		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	201	367,830	
令和4年度	190	347,700	前年度比－5.4%
令和5年度	213	389,790	前年度比＋12.1%
	要支援1		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	1,177	2,153,910	
令和4年度	1,242	2,272,860	前年度比＋5.5%
令和5年度	1,141	2,088,030	前年度比－8.1%
	要支援2		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	848	3,211,470	
令和4年度	1,013	3,845,360	前年度比＋19.7%
令和5年度	998	3,803,210	前年度比－1.1%
	要介護1		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	2,943	16,906,410	
令和4年度	3,434	19,823,860	前年度比＋17%
令和5年度	4,118	23,870,660	前年度比＋20.4%
	要介護2		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	1,503	10,211,890	
令和4年度	1,944	13,189,020	前年度比＋29%
令和5年度	2,199	14,880,900	前年度比＋12.8%
	要介護3		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	566	4,385,640	
令和4年度	556	4,400,600	前年度比＋0.3%
令和5年度	550	4,356,000	前年度比－1.0%
	要介護4		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	408	3,642,460	
令和4年度	345	3,072,150	前年度比－15.6%
令和5年度	399	3,562,860	前年度比＋16.0%
	要介護5		備考
	利用数	報酬	
令和3年度	131	1,154,850	前年度比＋29%
令和4年度	131	1,104,930	前年度比－4.3%
令和5年度	174	1,565,480	前年度比＋41.7%
令和3年度	42,034,460		
令和4年度	48,056,480		基本報酬のみの合計（前年度比＋14.3%）
令和5年度	54,516,930		基本報酬のみの合計（前年度比＋13.4%）

IV、基本サービス報酬と加算について

① 基本サービス報酬について 《資料④介護度別各年度の基本報酬比較》

サービス利用数の増加に伴い、基本報酬は昨年度比+13.4%となっています。

②入浴介助加算

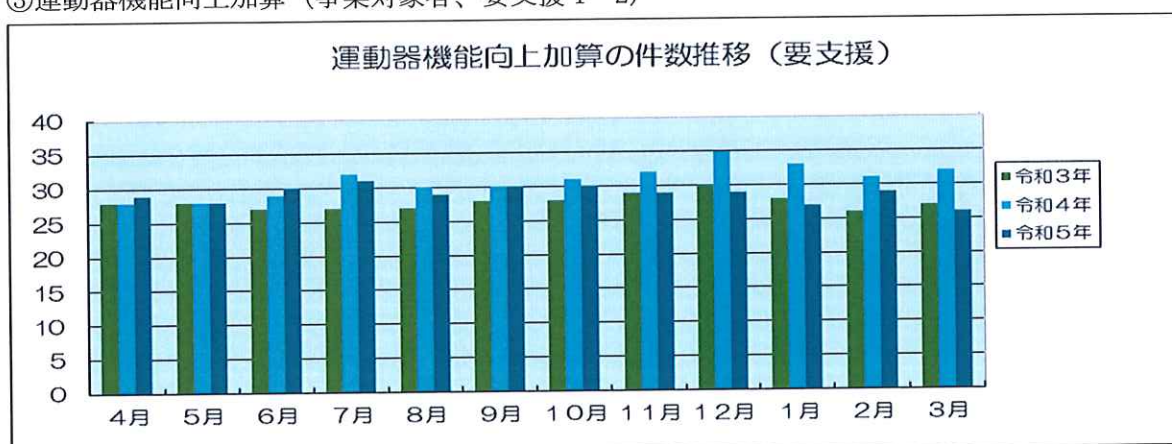
令和 3 年・・・3787 回

令和 4 年・・・4414 回（令和 3 年度より+16.5%）400 円×4414 回＝1,765,600 円

令和 5 年・・・4712 回（令和 4 年度より+ 6.7%）400 円×4712 回＝1,884,800 円

※当事業所は入浴介助加算Ⅱの算定を行っています。

③運動器機能向上加算（事業対象者、要支援 1・2）



運動器機能向上加算

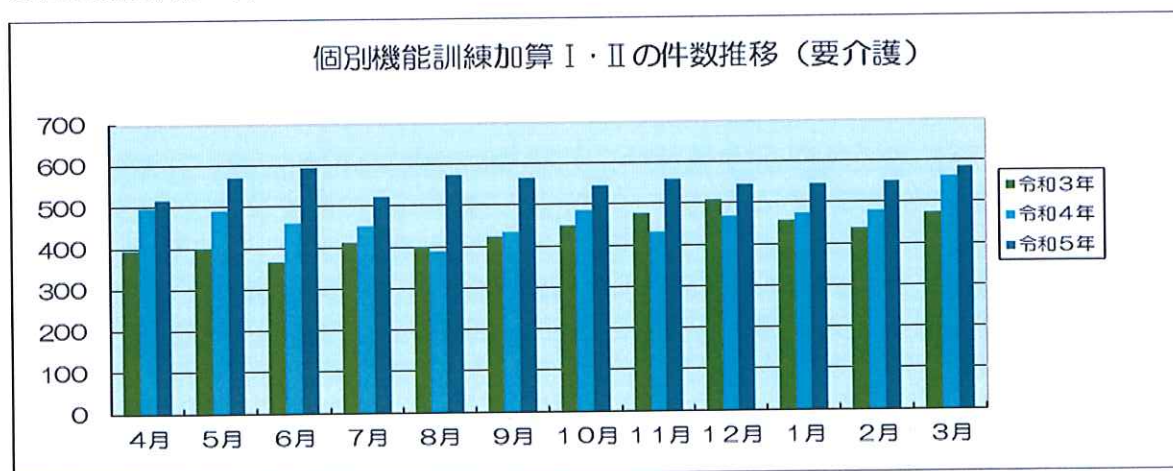
令和 3 年・・・333 回

令和 4 年・・・371 回（令和 3 年度より+11.4%） 2,250 円×371 回＝834,750 円

令和 5 年・・・347 回（令和 4 年度より -6.4%） 2,250 円×347 回＝780,750 円

総合事業の利用数の横這いと比例して、運動器機能向上加算の算定数も横這いとなっています。

④個別機能訓練加算



令和 3 年・・・ 5,200 回

令和 4 年・・・ 5,628 回 (令和 3 年度より+ 8.2%)

令和 5 年・・・ 6,676 回 (令和 4 年度より+18.6%)

※個別機能訓練 I (イ)・(ロ)の総数

令和 5 年度

【個別機能訓練加算 I (イ)】 560 円× 158 回=88,480 円

【個別機能訓練加算 I (ロ)】 850 円×6518 回=5,540,300 円

【個別機能訓練加算 II】 200 円× 627 回=125,400 円

令和 5 年度計 5,754,180 円 (令和 4 年度より+24.0%)

※令和 5 年度は配置人員が安定しており下位加算である機能訓練 I (イ) の算定が少なく、訓練件数も多くなり収益も大きく上がっています。

【生活機能向上連携加算 II】 1,000 円×974 回=974,000 円 (令和 4 年度より+3.1%)

⑤送迎減算

	減算数		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
要介護 1	200	55	69
要介護 2	38	112	50
要介護 3	20	18	0
要介護 4	11	3	1
要介護 5	0	0	0
合計	269	188	120

通所利用時、送迎サービスを利用しなかった場合 (家族送迎など)、片道 47 単位 (470 円) が基本サービス費から減算されるものです。

470 円×120 回=56,400 円 令和 5 年度の基本サービスの報酬から減算されています。

⑥口腔栄養スクリーニング加算

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
年間合計算定数	156	171	161

令和 3 年度の介護保険制度改正にて、栄養状態の観察に加え口腔内の状態の観察と報告を追加した『口腔栄養スクリーニング加算』が新設されました。一人当たり、6 か月に 1 回、200 円の算定となっています。

令和 5 年度 200 円×161 回=32,200 円

⑦ADL 維持加算

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
年間合計算定数	523	589	643

利用者（要介護）の ADL を評価・報告し一定の基準に達していれば算定できる加算です。令和 5 年度は上位加算の ADL 維持加算Ⅱの算定となっており（年度毎に条件が算出される）令和 4 年度は下位加算の ADL 維持加算Ⅰの算定だったため報酬増となっています。

令和 4 年度《ADL 維持加算Ⅰ》 30 円×589 回＝17,670 円

令和 5 年度《ADL 維持加算Ⅱ》 60 円×643 回＝38,580 円（令和 4 年度より＋118.3%）

V、目標の収入と実績について

収 入			
科目	予算額	実績額	達成率
介護保険事業収入	71,980,000	75,625,470	105.1%

支 出			
科目	予算額	実績額	達成率
人件費支出	49,830,000	50,786,707	101.9%
事業費支出	9,550,000	10,167,823	106.4%
事務費支出	3,620,000	3,462,263	95.6%

（人件費率 67.15%）

VI、利用登録の状況について

①新規利用の経路

みづま居宅	城島居宅	包括	その他居宅	合計
0 件	9 件	3 件	6 件	18 件

②利用終了の事由

他界	特養 入所	長期 入院	長期 SS	みづま 館へ	他施設 入所	本人 都合	他事業 所へ	合計
7 件	0 件	4 件	2 件	0 件	4 件	2 件	1 件	20 件

新規利用の相談は 18 件（介護 12 件、総合事業 6 件）とやや少ない結果です。令和 5 年度の傾向としては、他事業所からの新規相談が 9 件（介護 5 件、総合事業 4 件）と多かった結果です（総合事業 4 名中 2 名は後に介護へ）。広告チラシ及び空き情報のチラシの配布を継続的に実施し、問い合わせがあった際には迅速に資料を送るか、ケアマネージャーへの訪問によって情報提供するなど、サービス利用に繋がるよう積極的に動いています。

利用中止のケースについて、例年 20 件前後の利用中止がありますが、令和 5 年度は 20 件と例年通りの結果となっています（令和 4 年度は 15 件の利用中止）。他界による利用終了は 7 件

と少なく、長期入院と施設入所が多い印象です。

VII、令和5年度の取り組みについての評価

◎令和5年度の重点目標として以下の4点を挙げていました。

i.利用登録者数の増加

- ・新規利用の相談件数がそれほど伸びず、利用登録者数は横這い状態です。今年度は体験利用のキャンペーンチラシを作成し、半径10kmの範囲に所在する居宅介護支援事業所のケアマネージャー宛にダイレクトメールを送付し情報発信をしました。また、日常的に関わりがある町内外の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへの空き情報の提供や、通所内での取り組みや行事などの内容についても、毎月紙媒体でお知らせしました。また、そういったチラシや紙媒体については、事業所のホームページに掲載し情報を更新しています。こういった広報活動が直接的に利用数の増加につながっているかは判りづらいですが、地域の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターからの新規利用が半数に上る状況ですので、引き続き積極的に対外的な広報活動に力を入れています。

ii.利用者満足度の向上

- ・コロナウイルス感染症の5類移行に伴い行事や集団での活動を徐々に再開しています。お客様からも少しずつ日常に戻ってきたとの感想をいただくなど、皆で楽しみを共有する機会が増えてきています。ただ、歌やカラオケなどの歌唱を伴う活動については依然として中止しており、インターネット動画を利用して歌番組などの視聴をする程度に留めています。『カラオケをしたい』というお客様の要望が複数聞かれるため、今後の感染症の動向をみながら当法人の感染対策の方針を踏まえ、カラオケ等歌唱を伴う活動の再開を検討していく必要があります。

iii.感染症対策の継続

- ・令和5年度はコロナウイルス感染症の5類移行に伴い、世間一般の感染症に対する緊張感は低くなりました。他法人の通所事業ではマスクの着用を任意にしたりなど、感染対策を緩和する動きもみられました。しかし、以前ほどの感染拡大はないものの、利用者家族や地域での感染が聞かれるなどあり、これまで通り消毒やマスク着用、手洗い、換気、検温、密の回避など基本的な感染対策を引き続き徹底しました。そういった取り組みについてお客様は肯定的にとらえていただいております。家庭での感染などの状況が発生した際もすぐにご連絡いただけるなど協力を得ています。年間を通して、同時多発的に感染者が出たり施設内で感染が拡大するなどの状況は発生しませんでした。

iv.地域リハビリテーション活動支援事業（元気リハ・令和5年度事業）への参加・支援

- ・地域リハビリテーション活動支援事業（元気リハ・令和5年度事業）への参加・支援について、今年度は地域包括支援センターからの新規団体立ち上げの依頼はありませんでした。対外的な活動や支援として、当法人の在宅介護支援室が行う『足腰お元気教室』内での運動指導の依頼を受けて、当事業所の理学療法士が地域のサロン等既存団体へ赴いて運動の指導を行いました。地域のサロンなどの活動も徐々に再開しており、今後も依頼があれば積極的に参加・活動の支援に協力したいと考えています。

◎感染症に関する状況について

・感染症による事業への影響

当デイサービスセンターをご利用のお客様、及び、お客様のご家族のコロナウイルス感染、デイサービス職員やその家族の感染が数件発生しました。感染の当事者にいち早く情報を入れて頂くようにしていたことで早い段階で対応ができ、デイサービス内での感染拡大には至らず営業休止などの措置をとることはありませんでした。

IX、令和5年度行事の実施状況

	行 事		行 事
令和5年4月	・誕生会 ・園芸活動 ・バーベキュー ※『接遇』研修（職員）	令和5年10月	・バスハイク（コスモス見物） ・レクリエーション大会 ・誕生会 ・シアターデイ ・避難訓練
令和5年5月	・母の日（写真のプレゼント） ・誕生会	令和5年11月	・バスハイク（七木地蔵） ・ものづくり（クリスマス作り） ・シアターデイ ・誕生会
令和5年6月	・父の日（写真のプレゼント） ・誕生会 ・バスハイク（麦米） ・シアターデイ	令和5年12月	・クリスマス忘年会 ・餅つき（合同） ・誕生会
令和5年7月	・七夕（壁面飾りづくり） ・ものづくり（苔玉づくり） ・シアターデイ ・誕生会 ※緊急時の対応について（職員研修）	令和6年1月	・初詣（玉垂宮） ・シアターデイ ・誕生会
令和5年8月	・夏祭り ・シアターデイ ・誕生会	令和6年2月	・節分 ・ものづくり（ひな飾り） ・誕生会 ※ハラスメント研修（職員）
令和5年9月	・敬老会 ・シアターデイ ・誕生会	令和6年3月	・桜見（園内で鑑賞） ・シアターデイ ・防災、避難訓練 ・誕生会

・ショッピングは2～3名の小グループで毎月2回ほど実施

・シアターデイはフロア（広いスペース）にスクリーンを設置し換気に注意して実施

令和5年度 ケアハウス ふれあい荘

事業報告書

1. 概要

入居者の高齢化に伴い、要介護認定を受ける入居者は増加傾向にあります。要支援・要介護状態になっても、外部サービスや特定施設入居者生活介護サービスなどを利用しながら、ケアハウスでの生活を継続できるよう支援してきました。

令和5年度の入退居状況は2名（特定）の入居、1名（特定）の退居（病院へ入院）がありました。

レクリエーション活動では、感染対策を行う事で昨年に比べ外出行事やおやつ作り、季節事の行事を増やす事が出来入居者からも好評でした。

2. 5年度の利用状況と実績

・令和5年度 年間入居率 = 95.8%

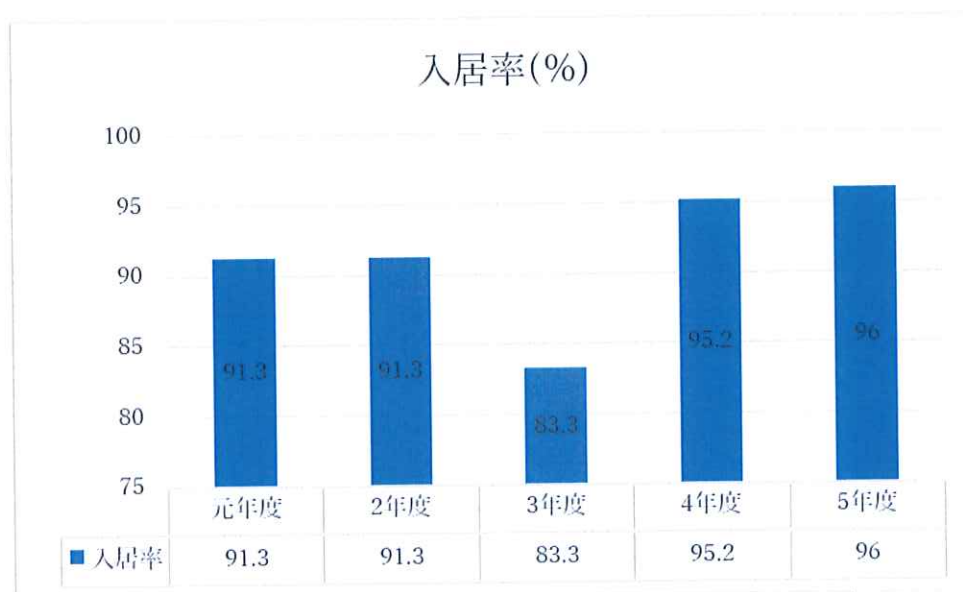
一般・・201名(平均 16, 5 名) 特定・・144名(平均 12 名) 合計・・345 (平均 28, 7 名)

元年度・・(27.4 名) 2年度・・(27.4 名) 3年度・・(25 名) 4年度・・(28.5 名)

※年間入居率は、入居者が満員になった状態が1年間続いた時の人数(30名×12か月=360名)を100%とします。

入居者平均年齢 平均年齢 89,1 歳 (女性 89,1 歳 男性 89 歳)

・昨年度(343 名) と比べ入居者数(2 名) の増加となりました。



入居申し込み状況 (10 件)

月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月
人数	2 名	3 名	2 名	3 名

前年度は 8 件でした。入居問合せは居宅支援事業所、病院、他施設（ケアハウス、有料）からの問

い合わせが多くその他、入居者家族からの入居問い合わせも数件ありました。

3. 事業実施計画に対しての具体的な評価

① 入居者の安心・安全な生活の支援及び職員との交流

- ・入居者の緊急連絡の手段として居室内にコールボタンが2か所設置してありますが、緊急時に作動するように毎月の点検、修理、交換を行い緊急時に対応出来るように取り組みました。
- ・入居者からの悩みや不安の相談があれば、その都度対応し安心して日常生活が送れるように支援しました。

② 入居者の楽しみとなるようなレクリエーションの取り組み

- ・レクリエーションでは、感染対策を行いバーベキュー、外出行事（コスモス、さげもんめぐり、ショッピング）等の行事を行いました。その他入居者からの要望があり回転焼き、恵方巻きの買い物代行も行いました。
- ・園芸活動では入居者と一緒に花苗やさつま芋、豆類を植えそれを収穫、調理し入居者へ提供しました。

③ 入居者30名の確保とケアプランの見直し、他職種連携について

- ・入居者獲得の対応として、ホームページや空き情報のお知らせ（居宅事業所、病院、市役所、民生委員）を行う事で問合せも増えました。30名入居には至りませんでした。前年度に比べるとわずかですが入居率はアップしました。
- ・他施設（ケアハウス）との連携を図る事で介護の必要な方（特定利用者）の紹介があり入居に繋げる事が出来ました。
- ・特定者のプランにつきましては、本人、家族の要望を取り入れ、その人らしく生活ができるよう支援致しました。入居者の状況により、介護保険認定の手続きやプランの見直しや区分変更を行い、介護が適切に受けられるよう実施致しました。
- ・他職種連携では、居宅事業者や病院、施設の関係者との情報共有や連携を図る事により、入退居、入退院、介護サービスの提供をスムーズに行う事ができました。

4. 収支状況

令和4年度

収入	4年度目標数	4年度実績	達成率
利用者延べ人数	360名	343名	95%
総収入	63,041,000円	62,300,789円	98%

令和5年度

収入	5年度目標数	5年度実績	達成率
利用者延べ人数	360名	345名	96%
総収入	70,000,000円	73,185,215円	105%

令和 4 年度

支出	予算額	実績額	執行率	人件費比率	職員増減数
事業費支出	11,576,000 円	9,837,264 円	99.6%	50,519,761 円	増 0 名
事務費支出	5,589,000 円	3,866,615 円	69%	81.7%	減 0 名

令和 5 年度

支出	予算額	実績額	執行率	人件費比率	職員増減数
事業費支出	13,580,000 円	11,341,166 円	84%	48,229,249 円	増 0 名
事務費支出	5,280,000 円	4,361,028 円	83%	96%	減 0 名

・ **令和 4 年度総収入 62,300,789 円に対し令和 5 年度総収入 73,185,215 円
増収額 10,884,426 円**

・ **令和 5 年度収入 3,185,215 円**

・ 増額の理由として 2 名（特定）の入居、電気料金単価（13 円から 25 円）の値上げ、人件費、光熱費、物品購入等経費節減が大きく影響したと思われます。

・ ケアハウス入居者（一般）デイサービス、ヘルプ利用金額
 デイサービス 6,657,550 円 ヘルプ 1,632,731 円

・ 現在の職員数・・・常勤 7 名（相談員 1 名、看護師 2 名、介護員 5 名）計 8 名

5. 運営

1-1・・・日常生活相談（相談、苦情）

（相談 1 件数件）

- ・ 他入居者の方がパンの持ち帰りをされていたので注意をしたら、その日から挨拶も返してもらえなくなったと相談あり。持ち帰りを見かけたら職員へ報告してほしい事を伝える。職員よりその方へ説明する事を伝えました。

（苦情件数 3 件）

- ・ 前に入浴された方が、浴室内の扇風機は回ったままで浴槽もザラザラしていると苦情あり。謝罪し毎日職員が、夕方浴室内の掃除をしている事を説明する。掃除後、他入居者が入られたと思われる。他入居者へ入浴後の掃除をして頂くように説明しました。
- ・ お風呂に入っていると、何度も他入居者がお風呂場の前で待ってあり気分的にせかされているようだと言われました。他入居者も視力や聴覚が低下され、入浴されているのが解らない可能性もあるので浴室入口に入浴中の札を設置する事で承されました。

- ・最近、食事が美味しくない。高齢者施設なので食事を食べさせればよいような感じがすると苦情がありました。

材料費の高騰や職員不足の影響を説明し、厨房職員も苦勞している事を説明しました。後日、管理栄養士を含め話し合いを行い、魚の味付けや、お汁が薄味で野菜が柔すぎるとの意見もありました。今後は、調理方法の改善や具材の検討をする事で承されました。

1-2・・・事故報告

(事故件数…34 件)

- ・前年度に比べ、事故発生件数が 7 件増加しました。
- ・入居者の高齢化に伴う、身体機能低下による事故が発生しております。
- ・居室内での移動時の転倒事故が多発しました。
- ・コールを事前に押す事や、不安な場合には職員へ相談してもらう事で、事故を防げた事例もありました。
- ・事故を未然に防ぐためにも、ひやりはっと報告書を活用していく必要があると思いました。

(事故内容)

- ・転倒 24 件 ・外傷 4 件 ・打撲 3 件 ・与薬 1 件 ・虫刺され 2 件

(対策について)

- ・事故防止委員会を開催、実施致しました。事故があればその都度、検討会を開催し個別ごとに事故への対策・対応・リスクの早期発見が出来るようにしました。主な対応としては、行動に不安がある場合にはコールを事前に押してもらうように説明し、コールが押しやすい場所への設置を行いました。その他、移動時には手すりやシルバーカーの使用をして頂くよう日頃の声かけや見守り、付添いを行いました。居室内の環境整え事故防止に努めました。入居者自身が本人の身体機能と向き合い、過信せず行動する事を説明し、危険要素を発見する事で事故防止に繋げていきます。

朝食後と夕食後の配薬間違いがあり、職員二人体制での配薬確認を強化していきます。

一般入居者…12 件

月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月
事故件数	4 件	5 件	2 件	1 件

特定入居者…22 件

月	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月
事故件数	6 件	4 件	3 件	5 件

1-3・・・職員の資質向上

職員の知識や質の向上を図るため、以下の研修に参加致しました。

- ・内部研修・・・事故防止、リスクマネジメント、接遇、身体拘束・虐待、感染症

※感染症対策や職員不足のため研修の参加が減りました。

来年度は、多くの外部研修に参加し職員の質の向上を目指します。

1-4・行事について

- 4月 おやつ作り（ピザ）
- 5月 トライアルショッピング、芋苗植え
- 7月 七夕祭（ところてん）
- 8月 ふれあいの集い（昼食会、映写会、かき氷）
- 9月 敬老会・入居者健診
- 10月 ふれあいの集い（鉄板焼き）芋ほり
- 11月 バスハイク（佐賀空港、コスモス鑑賞）
- 12月 クリスマス忘年会 青木小学校（3年生）との交流
- 1月 初詣、回転焼き、芋の甘露煮提供
- 2月 節分、恵方巻、芋のお汁提供
- 3月 バスハイク（柳川さげもん）

※その他行事・誕生会、散髪、ショッピング、代行ショッピング（回転焼き、お寿司等）

感染症の影響のため思うように行事ができませんでした。今後も工夫しながら入居者が楽しんでもらえる企画を実施して行きたいと思います。

<環境整備>

入居 10 年目の居室清掃（畳、クロス、ワックス掛け）
廊下網戸サッシ（20 枚）、居室ベランダ網戸サッシ（8 枚）張り替え
1F、2F 廊下エアコン室内機修理、2F 小浴室ガス給湯器交換
1F 小浴室ドアノブ交換
定期的なエレベーター点検
館外忌避剤散布（蛇、ナメクジ、ムカデ）

<新型コロナウイルス感染対策について>

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策に取り組みました。職員、入居者の検温、館内の消毒、手洗い、マスク着用、対面での食事を避けるため食事時間の分散やアクリル板の設置を継続しました。昨年同様、本年度もロビーで 15 分間の家族との面会や、個人の外出、外泊の制限をせず、また、施設の外出行事を増やすことで、入居者のストレス軽減に繋げる事ができました。本年度は、職員 4 名（内インフルエンザ 1 名）の感染が発生しましたが、日頃からの感染対策の徹底により、入居者への感染を防ぐ事ができました。本年度も、新型コロナに限らず、感染症全般の感染対策に取り組んで参ります。

令和5年度 特定施設入居者生活介護 事業報告書

1. 概要

令和5年度も「明るく、楽しく、安心・安全に過ごしましょう」といったテーマを掲げ、職員一同業務に取り組んで参りました。

5年度に2名の新規特定利用者があり1名の退居がありました。怪我のため一時的に2名の入居者が特定利用をされました。特定利用者5名の入院がありました。

入居者、一人ひとりに合った介護サービスを提供する事で、その人らしい日常生活を送る事が出来たと思われまます。

2. 5年度の利用状況と実績

収支報告 (介護保険事業収入)

	予算	実績	達成率
4年度	18,832,000 円	15,032,476 円	79.8%
5年度	19,730,000 円	23,351,160 円	118%

前年度(令和4)に比べ介護保険収入が増加致しました。特定利用者の利用人数が増えた事が収入アップに繋がったと思われまます。

特定利用者の介護度、延べ人数 (4年・5年度比較)

介護度	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計(名)
4年度	27	29	36	5	33	1	0	110名
5年度	13	24	51	19	12	12	3	134名

利用平均数 令和4年度(9名) 令和5年度(12名)

2-1・・特定施設入居者生活介護利用状況

入浴・排泄等の身体介護では、ケアプランに基づく個別対応・計画・評価により適切なサービスの提供が行えるよう取り組んで参りました。また、入居者が高齢になっても安心・安全に生活できるよう、心身状態の把握を行い、職員間の情報共有及び家族、関係機関との連携を行い適切な支援に繋げて行きました。

5年度は、介護保険の区分変更や更新申請で介護認定の結果が全体的に軽度の判定が多く見受けられたと思われまます。

2-2・環境整備

入居者の高齢による下肢筋力（体力）低下により、居室での転倒が増加傾向にありました。

そのため、転倒の危険性がある方には、居室内の環境整備や日頃の行動を観察し危険、予知を高め、歩行不安定の方には、押し車や歩行器をレンタルし転倒防止に努めました。

立位や移動に介助を要する入居者には、居室に T 型天井ベース（手すり）を設置し移動、移乗が出来やすくなったと喜ばれました。

シャワーチェアへの劣化があり、事故なく安全に入浴して頂けるように 2 台のシャワーチェアを購入しました。

2-3・特定施設介護サービス計画

・介護計画の作成については、入居者の生活状況、身体機能、精神面から評価を行い、入居者家族の意見を含め、担当者会議を開催しました。

・介護サービス計画については、身体状況・精神状況の変化時、または介護保険の更新時期の見直しや区分変更を行い入居者のニーズに沿ったプラン作成を行いました。

<今後の課題>

① 入居者の安全・安心な生活の支援、及び不利のない入居者への対応

- ・悩みや訴えを気軽に相談できる関係性を築き、日常的な会話や傾聴を行う事により、信頼関係を更に深めて行く必要があります。
- ・環境整備や職員による注意喚起を促し、事故防止に努めます。事故防止検討委員会や研修を行う事で、職員の意識の向上を図りリスクの軽減に努める必要があります。
- ・入居者にとってどのような支援や援助方法が適切であるかを見極め、職員が協力し合い問題解決に取り組んでいきます。

② 多彩なレクリエーションの実施、継続

- ・感染対策を前提に、多くの人が参加できる行事、入居者同士が楽しめる行事、個別で楽しめる行事を実施していきます。
- ・アンケートを行い、入居者が興味のあるレクリエーションを実施していきます。

③ 他職種連携のとれた体制作り

- ・他職種との連携を図り、本人にとってより良いサービスの提供、支援、実施を行うと共に入居者がスムーズにサービスが受けられる体制作りを目指します。
- ・日頃から、情報共有を行う事で多職種との信頼関係の強化を図っていきます。

④ 入居者獲得と業務の効率化・負担軽減

- ・業務の効率化、負担軽減を行うために、安定した職員の確保、入居者が自分で出来る所を増やし自立に向けた支援を行う事で負担軽減を図っていきます。
- ・今後、特定利用者の重度化が進んでくなく、ケアハウスでの生活が困難になられた場合には、本人、家族の意向に沿いその人らしく生活ができる施設の紹介等を行っていきます。更に特定利用者を優先的に受け入れる事で入居者獲得に繋げていきます。

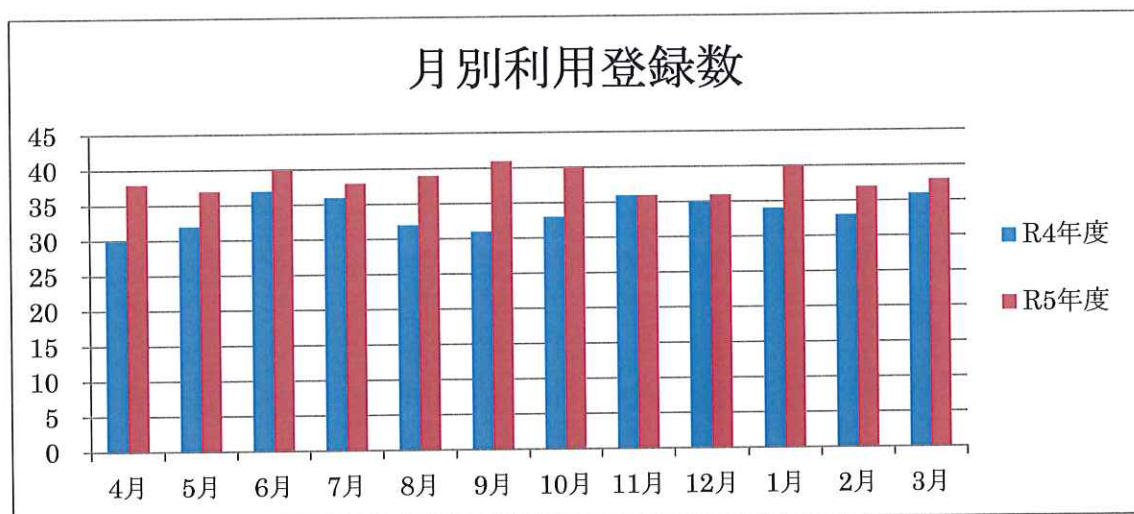
令和 5 年度事業報告

ふれあいの園ホームヘルプ事業

介護保険において、介護が必要となられた利用者に対し、可能な限りその居宅において、有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう、居宅サービス支援計画をもとに訪問介護計画を作成し、身体介護、生活援助、総合事業のサービスを提供いたしました。

①令和 5 年度の利用状況と実績

今年度も空き状況を居宅支援事業所や包括支援事業所へ配布を行いました。今年度は前年度を上回る登録者数となりました。



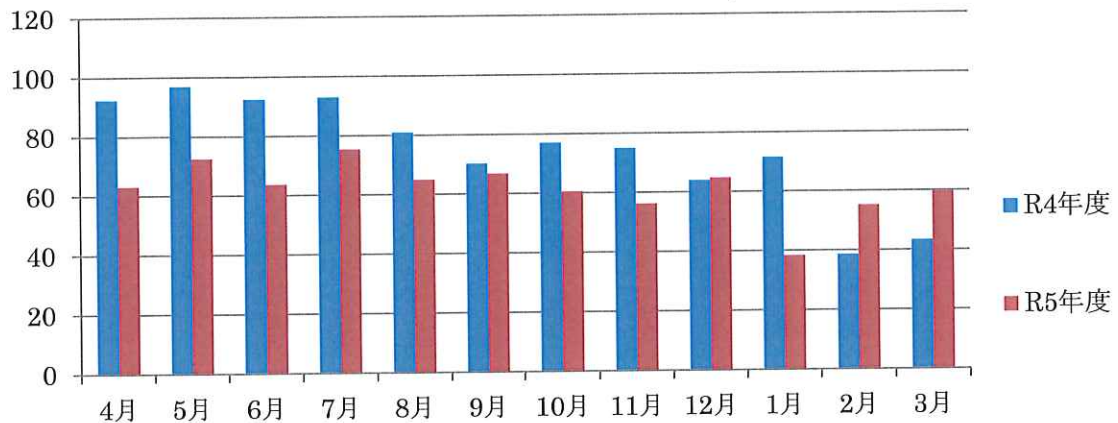
②事業実施計画に対しての評価

(1) 研修会を実施し認知症や身体介護が必要な方などに対する介護能力の向上を図る
身体介護は前年度を下回り今年度は月平均で 61.8 時間、前年度と比較すると月平均で 12.8 時間減でした。

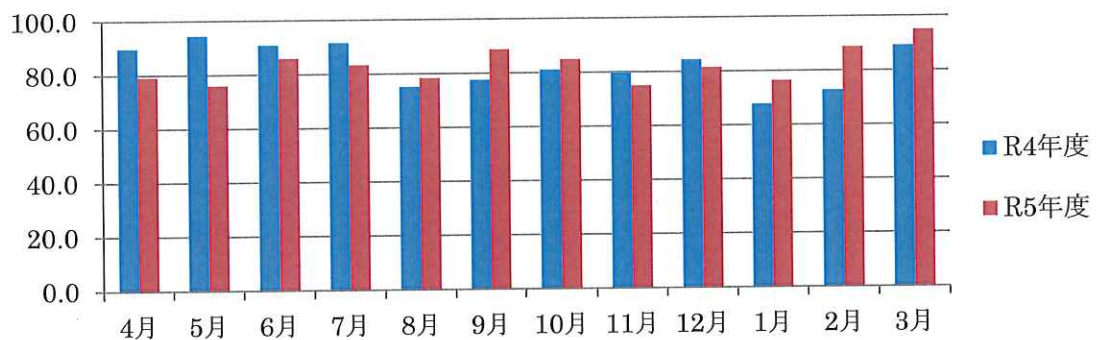
生活援助は今年度、平均で 82.8 時間、前年度と変わらない時間数でした。

総合事業は前年度を上回り今年度は月平均で 80.8 時間、前年度より月平均で 13.7 時間増でした。

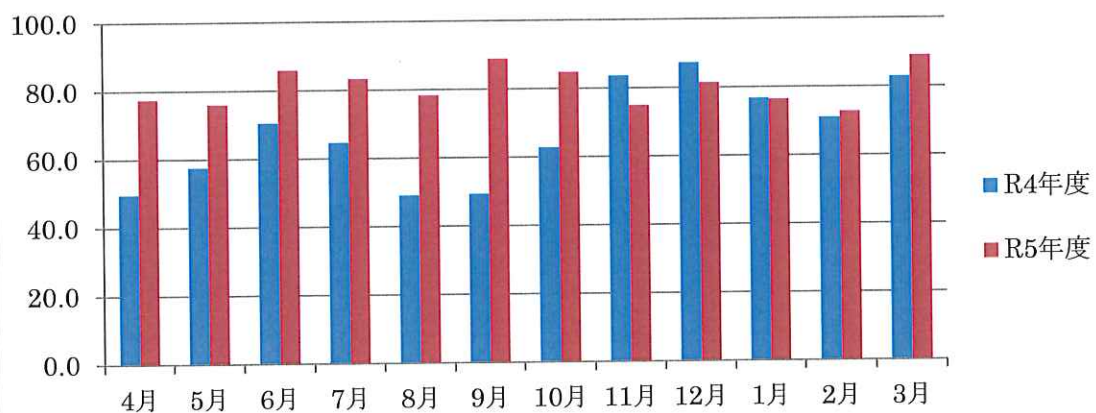
身体介護利用時間数



生活援助利用時間数



総合事業

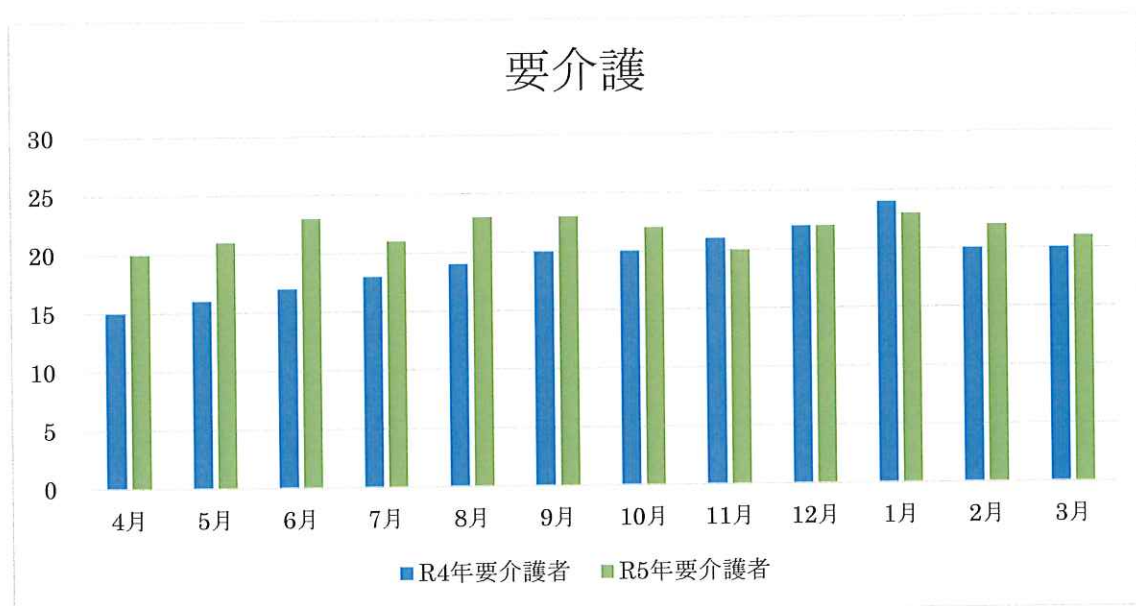
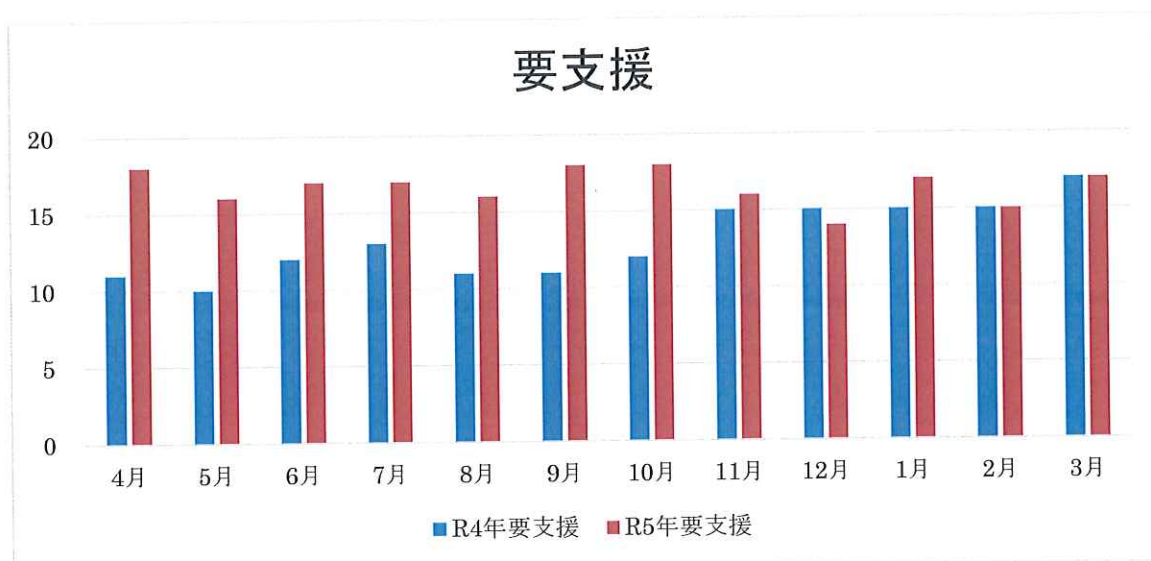


(2).活動地域内での利用者を増やす。

(2)ー 1

空き状況を居宅介護支援事業所や包括支援センターなどの関係機関に配布を行い
利用者増加に努める。

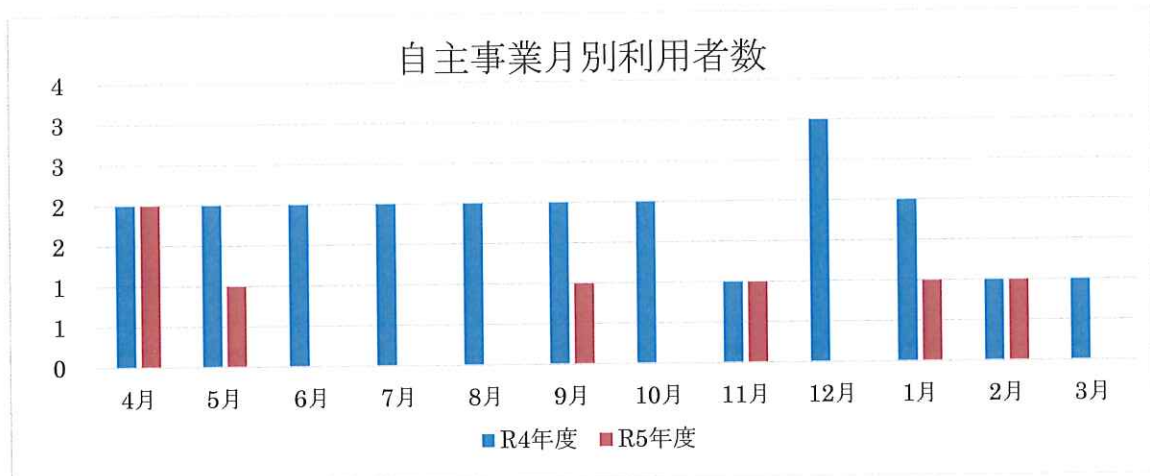
R5年度は、23名の新規利用登録がありました。(要介護者 12名、要支援者 11名)



(2)ー2

介護保険は対応出来ないニーズに対して自主事業訪問介護を提供し利用者の満足度向上をはかる。

R5 年度の利用数はのべ 7 名でした。内容は介護保険では適用されない受診の付き添いや同居家族世帯の掃除が主でした。



③令和 5 年度事業計画に対する数値目標達成率

年間収入目標 11,500,000 円に対し年収入 10,502,079 円で達成率 91%でした。

年間支出予算 1,070,000 円に対し年間支出 896,479 円で 16.3%減でした。

人件費の内訳は常勤 (2 名)・パート (1 名)・登録ヘルパー (2 名)

<収 入>

科 目	R5 年度目標数	R5 年度実績	達成率
利用のべ人数	636	468	74%
介護保険事業収入	11,500,000	10, 502,079	91%

<支 出>

科 目	R5 年度目予算	R5 年度実績	執行率
事務費支出	440,000	343,330	78%
事業費支出	630,000	553,149	88%
人件費支出	9,930,000	10,216,667	102%

(総括)

令和5年度は、登録ヘルパー1名が骨折により10月から2か月程休職しましたが、月平均の登録者数は前年度より5名ほど増やすことができました。今年度は身体介護の利用時間が減少し総合事業の利用時間が増加した為収入の面では目標達成することができませんでした。今後も、「自立生活支援のための見守りの援助」を明確にする事で身体介護利用に繋がりたいと思います。また、現行サービスを引き続き維持出来るように介護能力向上の為の研修を行いたいと思います。現在は休職していたヘルパーも復職致しましたので以前のように5名で事業を行えるようにはなりましたが、供給できる人数に限りがありますので、常勤・パートの稼働を上げる為に現在取り組んでいる内容(変更可能な利用者に対し、曜日や訪問時間変更の了承を頂く事で稼働を上げる)は継続して行きたいと思います。

同一法人以外の居介護宅支援事業所に対し、営業活動を強化する為サービス提供の空情報のチラシを作成し情報発信するとともに、地域包括ケア会議等に参加し当事業所の広報活動を行い他業種との連携を図り新規利用者の獲得に努めたいと思います。

令和5年度 在宅支援室事業報告書

在宅支援室は、介護・福祉・医療の総合相談窓口及び、校区サロンや老人会等の出前講座を中心とした地域貢献事業を主に活動して参りました。

新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、サロン活動等もコロナ禍以前の状態に戻りつつあります。しかしながら、ボランティアの高齢化や担い手、活動内容など校区サロンや老人会等、抱える問題は残されております。今後もその問題解決に向け、地域や関係機関との情報共有、連携を図っていく必要性が高いと感じております。

重点目標に対する実績及び評価

1. 地域（校区）の抱える課題及びニーズを抽出し、必要とされる地域（校区サロン、老人会等）の支援、新たな校区活動の推進と社会資源の構築

令和5年度は、出前講座に関するご相談、総合相談は僅かながら増加傾向にあります。これは、出前講座や地域役員、ボランティアを通じて新規相談等につながったことも理由の一つとしてあげられます。

しかしながら、令和4年度に続き在宅支援室の役割をより多くの方々に知って頂く取り組みが十分にできていなかったことも反省点としてあげられます。令和6年度は在宅支援室の周知活動にも力を入れていきたいと考えております。

〈活動実績件数〉

	令和4年度	令和5年度
訪問件数	16件	22件
相談件数（電話・来園）	37件	39件
代行申請	1件	0件
居宅移行	0件	1件
出前講座（ふれあいの園独自）	12件	19件

城島町出前講座

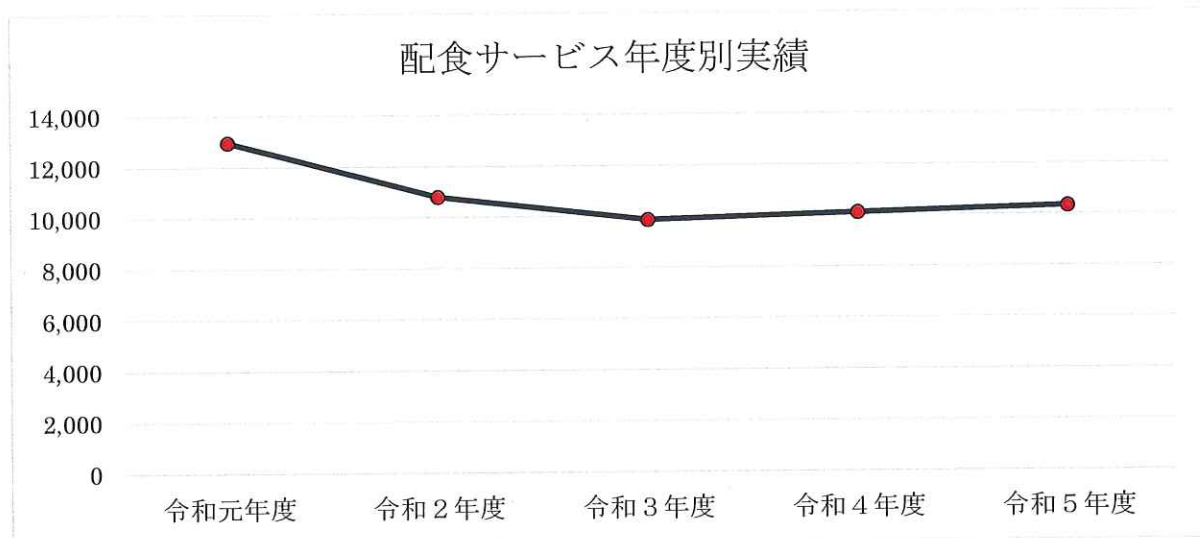
町内事業所連携による出前講座は、令和4年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大・蔓延防止、町内事業所における人員不足等の問題もあり、積極的な広報活動を控えて参りました。町内事業所及び地域包括支援センター等と情報共有、連携を行うことで地域の課題抽出や各事業所間の交流にも繋がるため、今後も城島町出前講座の広報活動、総合相談及び受付窓口としての機能を継続して参りたいと思います。

2, 充実した配食サービスの提供

令和4年度と比較し、配食サービスの収益は僅かながら増収傾向にあります。その要因として、状況（人材、配達ルート等）に応じた新規受け入れ、ご利用者の加齢及び心身状態の低下によるご利用回数の増加、栄養バランスの取れた食事がしたい、家事負担、介護負担の軽減等があげられます。また、当施設デイサービスご利用時の夕食持ち帰りのご相談も増えております。今後も、新規ご利用希望に対し、可能な限り対応ができるよう管理栄養士等との連携に努めて参りたいと思います。

過去5年間の配食サービス実績については下記の表の通りです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	927	970	1,108	1,176	1,093	1,112	1,193	1,150	1,166	991	1,031	1,048	12,965
令和2年度	973	940	905	942	944	1,004	1,034	872	887	820	844	843	10,808
令和3年度	859	909	924	875	742	814	817	788	894	782	607	864	9,875
令和4年度	802	794	770	839	903	832	904	920	893	811	782	880	10,110
令和5年度	811	903	895	950	950	834	801	783	885	749	877	903	10,341



*令和4年度配食収入 4,875,941 円、令和5年度配食収入 4,985,642 円（前年比 109,701 円増）

*配食サービスは、一食 500 円（おかずのみ 450 円）にて提供しております。

3, ふくおかライフレスキュー事業（生計困難者への総合支援等）への参加

レスキュー事業の実施にあたっては、福岡県社会福祉協議会、久留米市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の関係機関・団体等との連携を図りながら実施する仕組みとなっておりますが、令和5年度におけるご相談は発生しておりません。

令和5年度ふれあいの園みづまケアプランサービス事業報告書

① 令和5年度の利用状況と実績

② 収支状況について

◎令和2年9月に介護支援専門員1名の職員数減があり、それ以降は2名体制で業務を遂行しております。特定事業所加算のAの算定を目指して、介護支援専門員の増員（兼務）を目標に掲げましたが、今年度に関しても2名体制で業務を遂行しました。

介護予防の利用者数は、令和4年度の介護支援専門員の1名あたりの平均利用者数は月平均5.5人。

令和5年度は、月平均で5.8人と利用者数が増加した状況です。

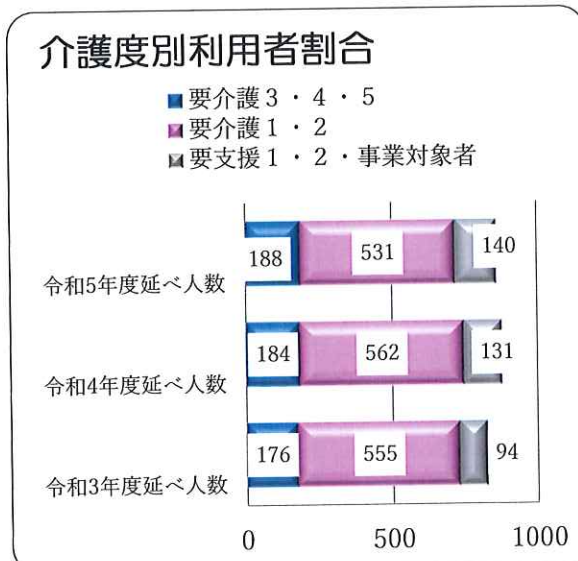
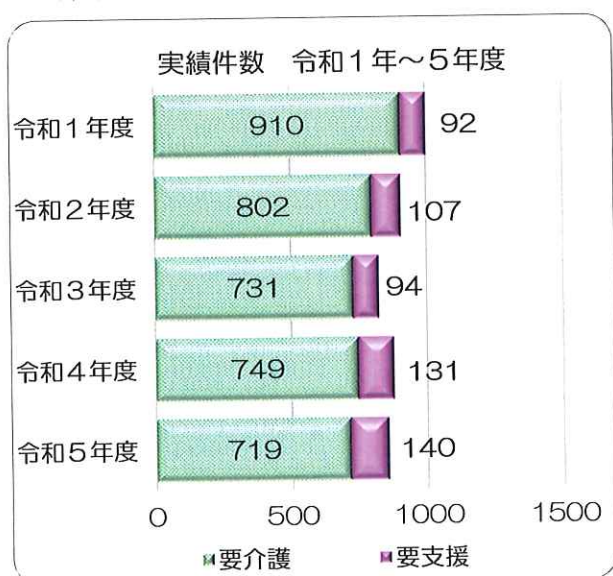
介護の利用者数に関しては、令和4年度の平均利用者数は月平均31.2人。令和5年度が、月平均で30人と利用者数が若干減少しました。

介護支援専門員の稼働率としては、94%でしたが、収入目標に対しては、介護支援専門員の増員（兼務）が困難な状況もあり87%の達成率にとどまりました。

【数値目標に対する実績数】

	令和5年度（目標）		令和5年度（実績）		達成率	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防
利用者延べ人数	756人	168人	719人	140人	95%	83%
介護支援専門員数	2人+α		2人			
特定事業所加算（介護）	加算A		加算なし			
月平均利用者数	63人	14人	60人	12人		
介護支援専門員1人に対するの担当者数	31.5人	3.5人	30人	6人		
介護支援専門員1人に対するの月平均担当件数	35人		33人		94%	
稼働率（基準担当件数35名）	100%		94%		94%	
収入	9,720,960	668,640	8,428,040	569,240	86%	85%
総収入	10,389,600		8,997,280		87%	

※予防利用者は1人を0.5件で換算



③ 介護報酬及び加算算定について

医療機関や関係機関との連携が問われており、利用者の入退院時には可能な限り連携を行い、今年度においては入退院の加算 24 件の加算を算定しております。

※加算詳細

- ・ 要支援 1・2 = 月 3980 円
- ・ 要介護 1・2 = 月 10760 円
- ・ 要介護 3・4・5 = 月 13980 円

要支援においては、委託連携加算の算定あり。

- ・ その他、初回加算、医療連携加算、入退院時加算等を、その都度算定しております。

④ 年齢・男女別利用者数について

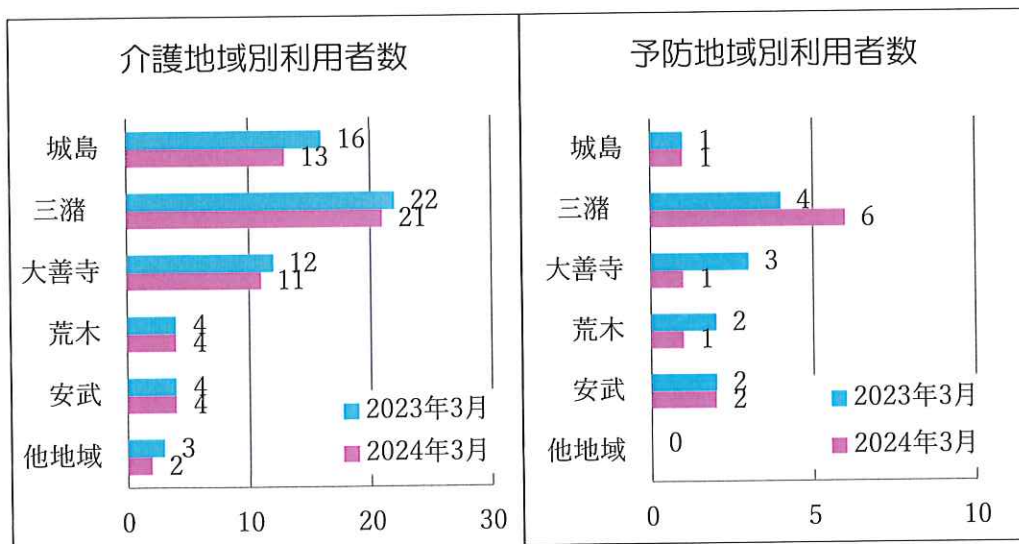
- ・ 最高年齢は 97 歳、最低年齢は 59 歳で幅広い年齢層の利用者に対応しています。
- ・ 利用者の大半は女性の状況です。

⑤ 年度・介護度別の延べ月平均利用者人数について

- ・ 延べ利用者は、令和 4 年度と比較すると要介護の利用者・要支援の利用者数は減少しております。
- ・ 要介護 1.2 の軽度の利用者と介護 3・4・5 の重度の利用者の割合的な変動は少ない状況です。

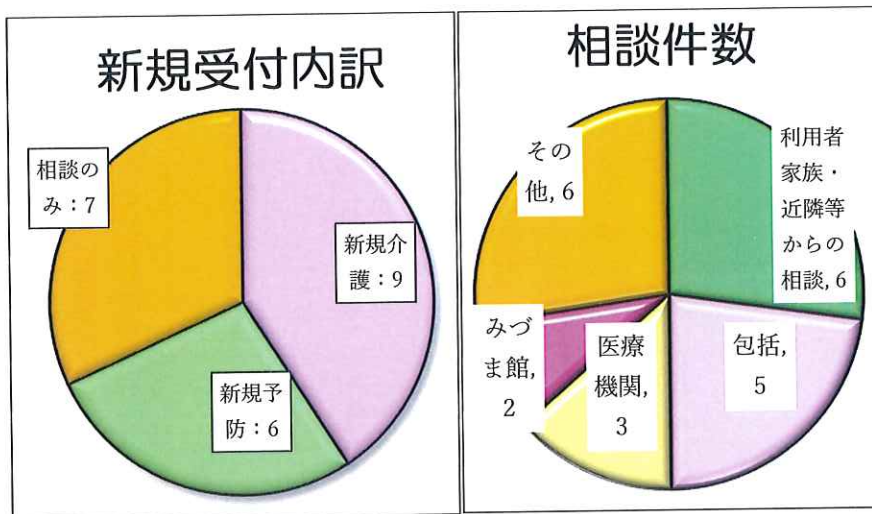
⑥ 利用者の地域別分布について

- ・ 令和 4 年度と同様に、三潴と城島の利用者が過半数を占め、大善寺・荒木・安武の西圏域全体と佐賀方面の一部の利用分布に変化はありません。
- ・ ふれあいの園ケアプランが城島に所在しており、みづまケアプランとしては、三潴・荒木・大善寺・安武地区の利用者の獲得が今後も課題であると考えます。



⑦ 新規相談経路について

同一法人や病院からの紹介など、その都度状況を確認しながら新規の相談の受け入れを行っている状況です。



⑧ 事業実施計画に対しての評価

三潞周辺の地域の中に浸透していきたいとの計画に対して、随時新規の相談に対応できるように活動を継続しておりますが、2名体制では新規の相談に対応する事が困難な状況もありました。(利用者のご家族や民生委員・病院・地域包括支援センター等の関係機関等にパンフレットを配布する等の広報活動は継続して実施)

今後も地域に根差す事業所を目標に、しっかりと感染や災害の対策等を行い信頼される事業所作り・継続した広報活動等を継続していく必要があると考えます

研修に関しては、感染対策で外部講師を招いての研修は見送りましたが、内部の研修等の継続とオンラインを活用した研修で業務順応を適切に行えるように対応しました。

・内部研修

必要時の事業所内でのケース検討等
感染症対策の研修(随時)

・外部研修等

集団指導(オンライン)
高齢虐待防止研修(オンライン)
マインドフルネス研修など(オンライン)

・その他

相談支援従事者初任者研修・相談支援専門員コース(障碍)
相談支援従事者初任者研修・サービス管理責任者・基礎研修(障碍)

⑨ 今後の課題について

事業所の運営を安定させるためには、周知活動や介護支援専門員の資質の向上を目的とした研修の継続が必要と考えます。さらに介護支援専門員の事務処理を含めて、業務の効率化に意識して取り組んでいくことで働きやすい環境作りに取り組んでいきます。

ケアマネジメント業務でも感染防止を踏まえた弾力的な対応や、状況次第で通常とは違った臨時的な対応での支援を行っていきます。

※介護支援専門員の負担軽減と業務の効率化を考えると、時差出勤の検討やIT機器の活用を検討も必

要になってくると考えられます。

※令和 2 年 9 月の介護支援専門員の職員数減から、特定事業所加算の算定が不可となり、収入面に関しては、頭打ちの状態にあります。

将来的には本部との事業所の統合や、障害者への相談支援事業を展開できるように介護保険・障害分野の動向の確認を行っていきます。

今後も、状況を確認しながら介護の新規の利用者を増やし、稼働率を高めると共に、三潴の周辺地域に浸透して地域での貢献度を高めていきたいと考えます。

支出	予算額	実績額	執行率	人件費
事業費支出	640.000 円	329.041 円	51.4%	11. 287.104 円
事務費支出	590.000 円	503.620 円	85.3%	125.4%

令和5年度 ふれあいの園みづま館小規模多機能型居宅介護事業報告書

1 利用状況と実績について

令和5年度は、新規利用者12名(共生1名)・登録解約者7名でした。総登録者は、26名で、延べ利用者数平均は16.6名でした。令和1年度から令和5年度までの新規・再登録者数と解約数を見てみると、新規・再登録者が5年間の平均12名で解約者が5年間の平均11.6名でした。令和5年度では、新規利用者は12名と登録者が伸びております。新規利用者の紹介経路としては、家族からの相談4人・ヒイラギケアプランサービスから1人・風と虹から1人・敬和園ケアプランサービスから1人・聖マリアヘルスケアセンターから1人・西包括支援センターから2人・西第2包括支援センターから1人・富田病院から1人となっています。

登録解除者の理由としては、3人が入院。施設入所が2人となっています。

令和5年度の介護保険事業収入達成率に関しては、99.22%で、前年同期実績比120%増でした。

予算の執行率は、事業費が89.88%と想定内であり、事務費は、107.31%と業務委託費、保険料、保守料が予算よりオーバーでした。人件費率は、84%となっております。

令和1年度から令和5年度までの新規、再登録者・解約者・登録人数

	令和1年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者	解約	登録者	新規・再登録者(共生型)	解約	登録者
4月	0	1	20	2	2	16	0	3	17	0	1	15	0	1	14
5月	2	1	21	0	0	16	1	2	15	0	3	12	1	1	13
6月	1	0	21	2	1	17	2	1	15	2	1	12	1	1	13
7月	0	0	21	1	1	17	1	0	15	0	0	12	4	0	16
8月	0	0	21	1	1	17	1	2	16	1	2	12	0	0	16
9月	1	1	22	1	1	17	1	1	15	1	1	12	2	0	18
10月	0	0	21	0	1	16	2	0	16	0	0	11	0	0	18
11月	1	2	22	2	0	18	0	1	16	0	1	11	1	1	19
12月	0	1	19	1	1	18	0	1	15	3	2	12	2	1	18
1月	0	2	18	1	2	17	1	1	15	0	0	11	1	3	17
2月	2	1	18	0	0	17	1	2	15	3	0	14	2(1)	1	17
3月	0	2	16	1	0	18	3	2	16	0	0	14	3	1	20
合計・平均	7	11	20.0	12	10	17.0	13	16	15.5	10	11	12.3	18	10	16.6

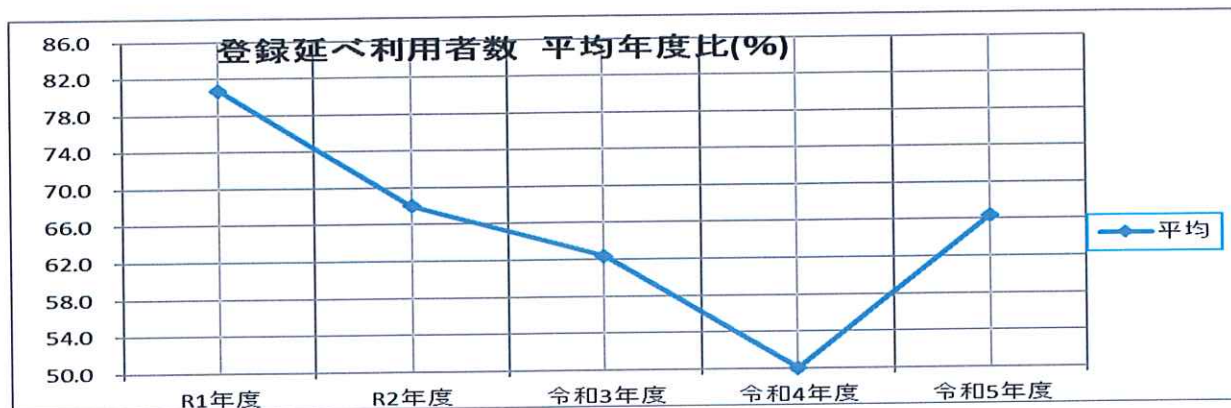
① 登録延べ利用者数

② 登録延べ利用者数 年度比(%)

	登録延べ利用者数				
	R1年度	R2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	20	16	17	15	14
5月	21	16	15	14	13
6月	22	17	15	12	13
7月	21	17	15	12	16
8月	21	17	16	12	16
9月	22	17	15	12	18
10月	21	16	16	11	18
11月	22	18	16	11	19
12月	19	18	15	12	18
1月	18	17	15	11	17
2月	18	17	15	14	17
3月	17	18	17	14	20
平均	20.2	17.0	15.6	12.5	16.6

	登録延べ利用者数 年度比(%) 25人を100%とする				
	R1年度	R2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	80	64	68	60	56
5月	84	64	60	56	52
6月	88	68	60	48	52
7月	84	68	60	48	64
8月	84	68	64	48	64
9月	88	68	60	48	72
10月	84	64	64	44	72
11月	88	72	64	44	76
12月	76	72	60	48	72
1月	72	68	60	44	68
2月	72	68	60	56	68
3月	68	72	68	56	80
平均	80.7	68.0	62.3	50.0	66.3

② 登録延べ利用者数 年度比(%) 25人を100%とする



③ 収支・人件費率

収入	令和5年度目標数	令和5年度実績	達成率	
登録利用者数(25人)	20	16.7	83.50%	
総収入	54,000,000	53,577,039	99.22%	
支出	予算額	実績額	執行率	人件費率
事業費支出	5,890,000	5,293,681	89.88%	45,204,735
事務費支出	1,900,000	2,038,943	107.31%	84%

令和5年度の登録者の平均要介護度は、2.66でした。

令和3年度の登録者の平均要介護度は、2.96・令和4年度の登録者の平均要介護度は、2.87であり令和5年度は要介護度が下がっている状況にあります。

令和1年度から令和5年度までの要介護度別合計を見てみると、要支援の方は全体の1.4%、要介護1・2の方は、全体の41.5%、要介護3・4・5の方は、全体の57.1%でした。

令和4年度からすると要介護1・2の方も、要介護3・4・5の方も増えた状況にあります。

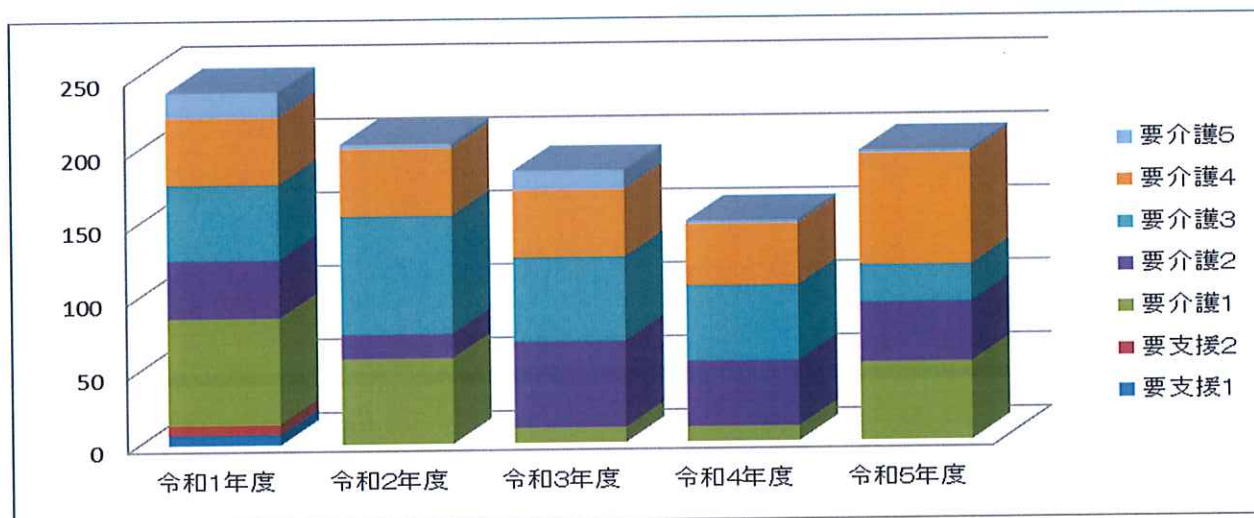
令和5年度は、要介護度は若干下がりましたが、登録人数も増えた事により、収入は上がっている状況です。

④令和5年度 登録者の要介護度別人員(平均要介護度は、「要支援1・要支援2は0.375で計算行う」)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	3	2	2	5	5	5	5	6	6	5	4	5	53
要介護2	4	4	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	41
要介護3	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	25
要介護4	5	6	6	6	6	8	8	8	7	6	5	5	76
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
計	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
月平均要介護度	2.64	2.85	2.92	2.56	2.56	2.72	2.72	2.63	2.56	2.53	2.71	2.61	2.66

⑤介護度別利用者数(登録者合計)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援合計	要介護1・2合計	要介護3・4・5合計
令和1年度	7	7	72	40	51	46	17	14	112	114
令和2年度	0	0	58	17	80	46	3	0	75	129
令和3年度	0	0	10	59	57	46	13	0	69	116
令和4年度	0	0	10	45	51	42	2	0	55	95
令和5年度	0	0	53	41	25	76	2	0	94	103



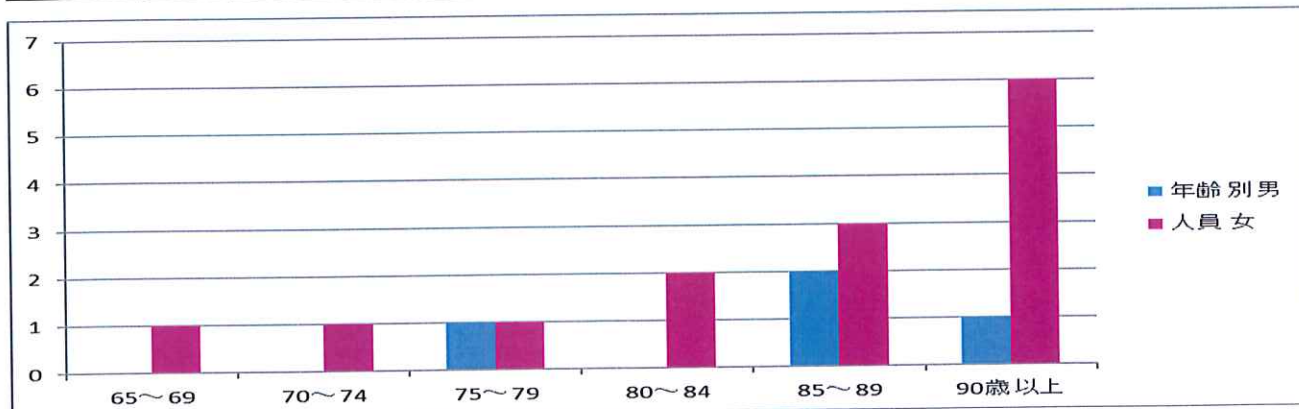
令和6年3月現在の登録者の平均年齢は、86.0歳でした。

令和5年3月が86.4歳でしたので、令和5年度が若い方が若干多かったです。また、85歳以上の方が66.7%の割合でした。

⑥年齢別状況

令和6年3月現在

年齢別		65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上	計	平均	最高齢
人員	男	0	0	1	0	2	1	4	85.8	92
	女	1	1	1	2	3	6	14	86.1	102
	計	1	1	2	2	5	7	18	86	



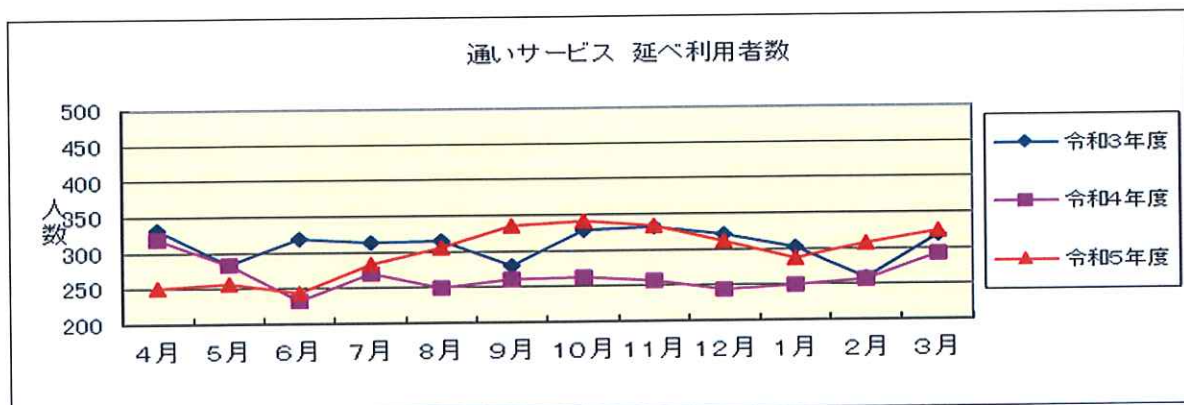
令和5年度の加算状況についてですが、サービス提供体制加算・総合マネジメント体制加算・科学的介護推進体制加算・処遇改善加算Ⅱ・特定処遇改善加算Ⅱ・ベースアップ等支援加算は、登録者全員にかかる加算です。看護職員配置加算については、要支援者以外にかかる加算で、認知症加算【1】【2】は利用者の状態による加算となります。登録者を増やすことで、認知症加算以外については、取れることになります。要介護度の高い方と低い方がバランス良く登録者して頂くことで、登録者数を多くすることが出来ると考えております。

⑦令和5年度 加算状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合マネジメント体制強化加算	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
サービス提供体制強化加算	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
処遇改善加算Ⅱ	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
特定処遇改善加算Ⅱ	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
ベースアップ等支援加算	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
看護職員配置加算	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
科学的介護推進体制加算	14	13	13	16	16	18	18	19	18	17	17	18	197
認知症加算【1】	6	6	6	9	9	11	11	11	9	8	8	8	102
認知症加算【2】	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
初期加算【延べ日数】	0	0	11	71	38	30	0	29	21	9	45	40	294
口腔栄養スクリーニング加算	0	0	3	3	3	3	0	5	3	3	1	3	27
看取り連携体制加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

令和5年度のサービス提供は、通いサービスが1日平均9.8、泊りサービスが1日平均5.6、訪問サービスが1日平均0.9でした。

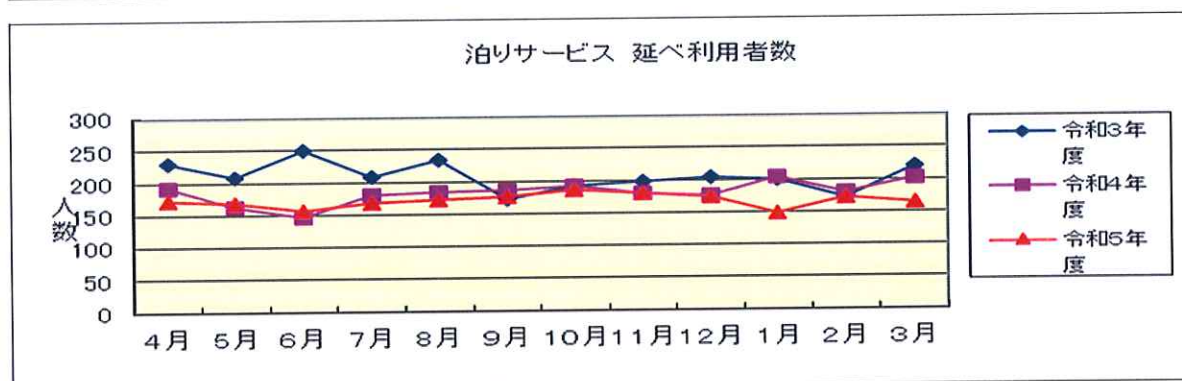
令和4年度と比べて、通いサービスが1日平均8.7であったものが9.8、泊りサービスが1日平均6であったものが5.6、訪問サービスが1日平均0.6であったものが0.9となり、通いサービス・訪問サービス・泊りサービス共に、登録者数が減少した事により、サービス量は減少となっております。また、泊りサービスに関しては、令和4年度より長期の泊り利用者を減らしていった為、1日平均4人と減少しております。

通いサービス													
サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
令和3年度	332	284	319	313	316	280	328	332	321	301	259	318	
令和4年度	318	283	233	270	250	260	262	256	244	249	256	292	
令和5年度	252	256	243	284	306	335	341	334	312	286	308	325	



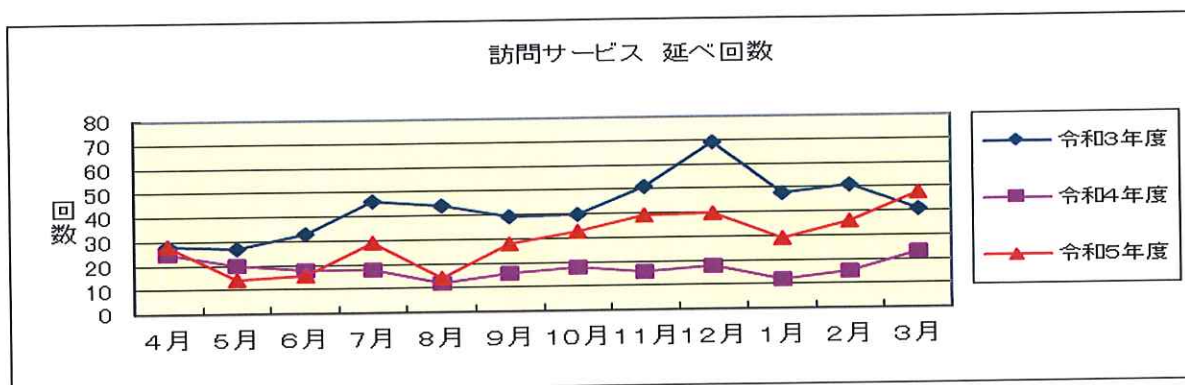
泊りサービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和3年度	229	208	250	208	233	173	193	198	204	201	173	220
令和4年度	192	163	146	180	184	186	193	180	176	205	181	203
令和5年度	172	168	157	168	173	177	186	181	175	148	172	164



訪問サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和3年度	28	27	33	46	44	39	40	51	69	48	51	41
令和4年度	25	20	18	18	12	16	18	16	18	12	15	23
令和5年度	28	14	16	29	14	28	33	39	40	29	36	48



2 職員の研修について

外部研修には、参加できませんでした。内部研修については、定期的に行い、ガウンテクニック講習などを実施しました。

職員研修	
4月	内部研修(理念と尊厳について)
5月	緊急時の対応訓練・吸引機、アンビュー使いかた
6月	内部研修(介護職の倫理と職務・法令遵守)
7月	
8月	内部研修(感染症・食中毒・リスクマネジメント)
9月	
10月	内部研修(コミュニケーションと介護技術)
11月	ガウンテクニック講習・嘔吐時の対応訓練 高齢者虐待予防研修会参加・緊急時の対応訓練
12月	内部研修(身体拘束・プライバシー) ガウンテクニック講習・嘔吐時の対応訓練 緊急時の対応訓練
1月	高齢者虐待防止研修・嘔吐時の対応訓練
2月	ガウンテクニック講習・嘔吐時の対応訓練 吸引機、アンビュー使いかた
3月	内部研修(非常災害時の対応)

3 地域・家族との関わりについて

地域・家族との繋がりを強化する目的で、送迎時に話しを行い、泊り利用者の家族とはタブレットを活用し LINE にてやり取りを行い、生活状況を把握して頂きました。地域行事も徐々に参加出来ています。運営基準に定められた運営推進会議を、自治会長、早津崎民生員、尚寿会早津崎支部長、久留米市担当者、包括支援センター職員、利用者、利用者家族、職員にて行いました。

☆ 運営推進会議 【5月 7月 9月 11月 1月 3月】

令和5年度	地域行事	みづま館行事
4月		おやつバイキング・誕生会
5月		バスハイク(2000年記念の森公園)・誕生会
6月		
7月	コミセン掃除	七夕会・誕生会
8月		ミニ夏祭り・誕生会
9月		敬老会・誕生会
10月	三潯校区介護予防講座・認知症予防のカギは生活にあり！	避難訓練・誕生会
	イキイキ介護予防フェスタinみづま	バスハイク(七木地蔵)
11月		運動週間・誕生会
12月	空き缶・ゴミ拾い	誕生会・クリスマス会・おやつ作り
1月		新春福笑い会・誕生会
2月		節分・誕生会
3月		避難訓練(事業所のみ)・雛祭り・誕生会

4 重点目標について

① 登録利用者数の増加

・地域包括支援センターや病院(地域連携室)を中心に営業を継続的に行いました。令和4年4月の登録者が14名から3月には20名と徐々に増えてきた状況でした。

② 個別支援の充実

利用者個々のニーズに合わせて、ケアプランを作成し支援を柔軟に対応しました。家族と話しをして家族が抱えて悩みを共有する取り組みを計画していましたが、実行出来ておりません。令和6年度に行う予定です。

③ チームワークの重視

・定期的に個別で話をする時間を作り、関係性を強化出来るように行いました。全職員で話を行う時間もなかなか取れない状態でした。

5 今後の課題について

令和5年度の事業計画に上げておりました、事業実施計画についてはまだまだ努力する必要があると考えております。

登録利用者数の増加についても、定期的な営業活動を実施し新規受入れを積極的に行い、利用者数が増加するように努力します。

チームワークを重視して個別支援が充実できるように、引き続き行っていきます。

利用者だけでなく、職員も楽しく、業務に従事できるように改善していきたいと考えます。

みづま館認知症対応型通所介護事業所

令和5年度事業報告書

令和5年度は、利用者の新規獲得がなかなか厳しく、利用にはつながりませんでした。利用中の方は、家庭環境や本人の状態の変化に伴い入所や別のサービスへ移行など利用者減少し、令和5年度いっぱいをもちまして一旦事業休止となりました。

◎重点目標の評価

1、新規利用者の獲得

地域の介護予防教室などの参加が少しですが増え始め、地域や居宅支援事業所へのチラシ配布など実施しましたが利用者獲得にはつながりませんでした。

2、職員の知識のスキルアップ

職員体制等により研修時間がなかなか取れず、外部の研修参加がほとんど出来ませんでした。内部研修に関しては、感染症対策の研修を中心に行っています。

3、感染症対策

みづま館全体で感染症予防の徹底に努め、定期的に同線の確認やガウンテクニックの再確認の実施を行いました。

◎収支状況

○ 収入

収入	令和5年度予算額	令和5年度実績額	達成率
介護保険事業収入	17,000,000	11,396,714	67%

○支出

	予算額	実績額	執行率
事業費支出	2,870,000	2,769,327	96.50%
事務費支出	870,000	830,294	95.40%
人件費	14,407,006	人件費率	126%

◎利用状況について

年度前半より速いペースで利用者が減少しました。事業休止が決まり、年明けより家族・居宅介護支援事業所等へ事業休止の説明に行き、順次利用者を次の事業所へ送り出し行いました。3月31日をもって全員次の事業所へ移行完了しました。

年度別利用者数

	利用者数(実人数)					利用者数(延べ数)				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
4月	16	15	17	14	12	131	141	140	120	129
5月	16	14	15	15	10	142	137	121	133	128
6月	15	16	15	15	10	112	148	140	133	117
7月	16	16	15	14	10	142	143	122	125	98
8月	16	16	15	13	10	129	135	112	113	86
9月	17	16	14	13	9	138	135	98	119	97
10月	17	15	12	13	8	153	142	102	131	86
11月	17	16	13	13	8	156	138	99	128	86
12月	16	15	12	12	8	148	141	110	115	81
1月	16	16	12	11	7	143	137	87	96	74
2月	16	15	11	11	5	142	140	93	111	39
3月	14	15	12	12	2	131	147	112	126	6
合計	192	185	163	156	99	1667	1684	1336	1450	1027

・月平均登録者数

R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
16.0	15.4	13.6	13.0	8.3

・1人あたりの月平均利用回数

R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
8.7	9.1	8.2	9.3	4.0



※新規利用・・・0名

※登録解除理由

・入所・・・3名

・他サービスへ移行・・・8名

・入院・・・0名

・永眠・・・1名

利用者延べ数年度別対比

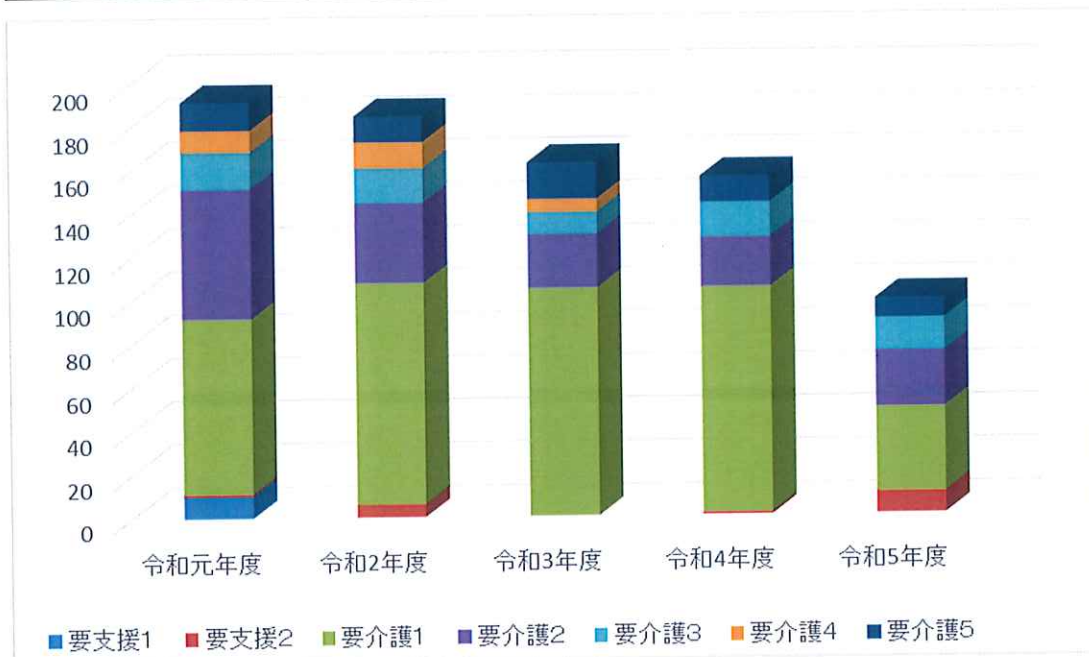
	利用者延べ数年度対比(%) 1日定員12名を100%とする				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
4月	42.0	45.2	44.9	38.5	51.2
5月	45.5	44.0	42.0	42.6	46.4
6月	37.3	47.4	44.9	42.6	46.4
7月	43.8	44.1	37.7	47.3	43.0
8月	43.0	43.3	38.9	40.9	34.1
9月	46.0	45.0	31.4	47.2	36.7
10月	47.2	43.8	32.7	49.6	32.6
11月	50.0	46.0	31.7	50.8	34.1
12月	47.4	44.0	34.0	43.6	30.7
1月	45.8	48.0	29.0	34.8	28.0
2月	47.3	49.0	32.3	46.2	16.2
3月	42.0	45.4	34.6	47.7	2.38
平均	44.8	45.4	36.2	44.1	33.5

◎介護度別利用者数

介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
要介護1	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	2	0	39
要介護2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	0	26
要介護3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	1	15
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9
平均	1.86	1.64	1.64	1.64	1.94	1.82	1.92	1.92	1.92	1.77	2.2	4	

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
令和元年度	10	1	81	60	17	10	13
令和2年度	0	6	102	37	16	12	12
令和3年度	0	0	105	25	10	6	17
令和4年度	0	1	104	23	16	0	12
令和5年度	0	10	39	26	15	0	9



◎入浴実施数

令和5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	8	7	7	7	7	6	6	6	7	6	4	1	
延べ人数	88	88	79	70	61	69	66	66	66	61	36	3	753
令和4年 (延べ数)	87	92	101	95	79	88	98	92	82	70	70	107	1061

◎年齢別利用者数

年間利用者年齢別

年齢別		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計
人員	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	38	10	47	4	99
	計	0	0	0	0	38	10	47	4	99
前年度	計	0	0	6	12	27	56	44	11	156

平均年齢 87.5 歳

(前年度 86.8 歳)

◎利用者居住地別

大善寺・三潞・城島からのご利用がほとんどでした。

◎運営推進会議について

5 年度は、9 月に 1 回目・3 月に 2 回目の顔合わせでの運営推進会議を開催しました。運営基準に定められた自治会長、早津崎民生員、尚寿会早津崎支部長、久留米市担当者、包括支援センター職員、利用者、利用者家族、職員にて利用者の利用状況及び取り組みに関して報告を行いました。

※ 7 月 28 日から 8 月 1 日まで職員の新型コロナ感染の為、営業中止しました。

◎職員研修について

職員研修	内部研修	外部研修
4 月		
5 月		
6 月	認知症について	
7 月		
8 月	感染症対策会議	
9 月	ガウンテクニック実技確認	
10 月		
11 月	感染症対策	擁護者による高齢者虐待予防研修会
12 月	高齢者虐待予防	
1 月	ガウンテクニック実技確認	
2 月		
3 月		

◎行事について

世間では、新型コロナウイルス感染予防が緩和されましたが、みづま館では手洗い・消毒等継続し、感染予防行いながら行事実施しました。

令和5年度	行事
4月	おやつ作り（パフェ）
5月	園外散策（ゆうゆう・弓頭神社）
6月	花苗植え おやつ作り（ジャム・パンケーキ）
7月	七夕会
8月	風鈴づくり
9月	敬老会 園芸活動 避難訓練
10月	おやつ作り（ふな焼き）
11月	十連公園散策 みづまコスモス見学
12月	クリスマス・忘年会 金柑収穫・甘露煮作り
1月	福笑い大会 初詣（青木天満宮）
2月	節分
3月	

※毎月の誕生会

◎地域行事

地域の行事は、少しずつですが開催され始めています。

- ・ 7月…城島江島地区出前講座参加
- ・ 10月…城島町下青木地区出前講座参加
- みづまイキイキ介護予防フェスタ参加
- 三潞校区コミュニティーセンター介護予防講座参加

令和 5 年度 事業報告

ふれあいの園就労継続支援B型事業所

① 令和 5 年度の利用状況

令和 5 年度の利用契約者は 2 名(うち 1 名は入院にて契約解除となる)
1名に関しては、リネン交換や清掃等介護スタッフの補助として活動出来るほど、休まず
就労に努めることが出来ています

② 研修について

特養研修にあわせて感染対策や虐待防止の研修に参加
外部実施の障がいについて学ぶ会や強度行動障害支援者養成研修にも参加

③ 収支の状況について

収入													
R5年	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
国保連	¥126,190	¥157,530	¥149,150	¥142,050	¥156,360	¥227,830	¥244,710	¥158,690	¥142,050	¥134,940	¥149,150	¥142,050	¥1,990,700
国保連本人負担額	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	¥-7,800												¥1,922,900
※発行手数料													

B型		4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
	B型収入	¥22,275	¥29,700	¥28,350	¥27,000	¥29,700	¥27,000	¥29,700	¥25,650	¥29,600	¥28,800	¥31,800	¥22,200	¥331,775
	B型工賃	¥15,150	¥19,800	¥18,900	¥18,000	¥19,800	¥26,900	¥32,350	¥23,400	¥22,500	¥21,375	¥23,625	¥22,500	¥264,300
	B型経費												¥74,800	¥74,800

※現在の作業内容としてはケアハウス・特養の清掃作業、リネン交換、軽作業(シール貼り・トロミカップ)、洗濯業務など

④ 行事について

餅つき会やケアハウスのバスハイク、クリスマス会などに参加
また、2,3 ヶ月に一度、社会貢献・地域交流を兼ねてクリーンパートナー活動を行う

⑤ 今後の課題として

見学は何件もあったが契約まで結びつかなかったため、利用者獲得に向け改めて支援学校や相談
支援センター・コミュニティーセンター・民生委員などと連携して情報共有し営業活動を行っていく

ふれあいの園 就労継続支援 B 型事業所

久留米市クリーンパートナー活動について

※利用者とスタッフにて、

2, 3 ヶ月に 1 回 30 分程度、近隣の清掃活動を実施する。

① 活動の場所

- ・青木小学校近辺
- ・上青木コミュニティー広場
- ・四郎丸コミュニティー広場 等

② 活動の目的

地域の方々が安心安全に過ごせるような環境づくりをめざす。

③ 活動を通して

- ・環境保全の大切さの意識づくりを図る。
- ・美しい社会づくりに貢献する。
- ・地域の方々との交流の機会を作る。

※施行日 令和 5 年度

5/23	6/20	10/26
11/27	3/11	